

# 烏帽子会會報

2008年秋号 Vol.45



日野原先生も一緒に鏡開き

- 福岡大学医学部・病院 創立35周年 特別記念行事  
市民公開講座「命の大切さを考える」  
聖路加国際病院理事長 日野原 重明 先生

4~7p

- サッカー愛好会 西医体優勝

34p・裏表紙

## 福岡大学医学部同窓会

目 次

・会長挨拶		
35歳	高木忠博	3
・福岡大学創立75周年、医学部・病院創立35周年記念行事		
公開講座／「命の大切さを考える」～医学と医療と社会への貢献をめざして～	朔 啓二郎	4
医学部、病院創立35周年記念行事と祝賀会	吉永康照	5
14期理事・監事名簿／支部長名簿		7
・研究奨励賞		
平成20年度研究奨励賞選考報告	大慈弥裕之	8
・平成20年度授賞論文抄録		
合成高比重リポ蛋白の虚血再灌流性不整脈に対する抑制効果の検討と その分子機序の解明(論文)	今泉 聡	9
Carnitine palmitoyl transferase (CPT) II欠損症の遺伝子解析(論文)	安野 哲彦	10
白蓋形成不全股における三次元加速時計による動的不安定性の解析(論文)	前山 彰	11
Association between Expression of Chemokine Receptors CCR7 and CXCR3, and Lymph Node Metastatic Potential in lung Adenocarcinoma(論文)	前川 信一	12
・平成19年度授賞研究計画報告		
合成HDLの多面的校歌～炎症調節シグナリングに及ぼす影響[計画]	河村 彰	13
卵巣移植・卵巣凍結による、妊孕性獲得の実験	三原 誠	13
・研究奨励賞 募集要項		14
・評議員会		
平成19年度評議員会議事録		15
・在外研究援助金 募集要項		20
・就任挨拶		
私が目指すこれからの救急医療	石倉 宏恭	21
脳神経外科とワイン	井上 亨	22
これからの法医学教室	久保 真一	23
就任ご挨拶	吉満 研吾	24
・退任挨拶		
教授退任のご挨拶	小野 順子	25
・学生対策報告		
学内における学生に関わる同窓会活動状況	竹下 盛重	26
・会員寄稿		
蕎麦打つ産科医	内田 克彦	28
戦略的な研究とは	三原 誠	30
To 朔 啓二郎 教授 From 今泉 聡さん		31
・教室紹介		
呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	吉永康照	32
麻酔科学教室紹介	香取 清	33
・キャンパスだより		
西日本医科学生総合体育優勝報告	原田 亮一	34
祝サッカー部優勝!! 応援団裏話	山田 大樹	35
・烏帽子会資料		36
・医局長・医長名簿		38
・教育職員人事		39
・編集後記		39

\*表紙表題は内田克彦先生(4回生)揮毫

## 会長挨拶

## 35歳

烏帽子会 会長 高木 忠博 (1回生)



1972年創設から35年の月日が経ちました。人間に例えるなら35歳になった事になります。壮年の年齢です。組織の成長も人間の人生と大変

似ている様に思います。創設期は、新生児期と同じで大変な苦勞がありました。しかし、成長と共に自立して行きます。福岡大学医学部は、一応医学部として成人の姿になったと思います。今迄の時間経過を「苦勞」と表現する人もいるでしょうが、小生は、創造の醍醐味を強く感じます。大学に学部を育てると言う作業は、高等教育を受けた人間にとってこれ程鼓舞させられる仕事は少ない様に思います。医学部という学部は、臨床、教育、研究3つの全く土壌の異なる種子を根気強く大切に育てていく作業ですが、この作業には参考になる事実は在っても正解はありません。大学医学部の発展には、必ず6つの力が必要の様に思います。「独創力」、「分析力」、「論理力」、「根気」、「プレゼンテーション力」、「コミュニケーション力」です。関係者全員がこの力を均等に駆使して御互いを信頼し胸襟を開いて創造する共同作業だと思っています。

その作業に係わる先導的仕事について関係者が、必ず持たなければならない事が6つつあると言われます。1. 志を持つ事、2. 約束を守る事、3. 成果を出す事、4. 威張らない事、5. 卑しくない事、6. 愚痴らない事。当たり前のようにですが、これを実践するのは、集団で行動を起こす時には大変重要な心構えのように思います。この事が守られている人間の集団では、心の中に集団にとって最も大切な「信頼感」が醸造されて行くと思います。

この難しい苦勞の作業の成果生み出される人材は、必ず社会の人達に役立つ高貴なる義務を持たされます。医療の草の根を黙々と堅実に支える人材を輩出する作業の中からその人材を教育する人間、その為の最高の知識を研究する人間が自然に生まれて来る様な大学医学部の発展が理想ではないかと思っています。この大学に集まった人間が自分の天分を信じ独立自尊の精神で、好奇心と向上心を常に忘れずモット高い頂上を目指して行けば、暖かい人間の血が流れる大学が創造されるのではないかと信じます。100周年を迎えた時、「本当にこの大学医学部は在って良かった、校風(精神)が良い!」と社会から言われる大学医学部に進化する為に、大学に対し同窓生として最大の応援が出来る組織に烏帽子会は発展したいと思います。全員、福大人の誇りを持って頑張りましょう。

## 公開講座

# 「命の大切さを考える」 ～医学と医療と社会への貢献をめざして～

実行委員長 医学部心臓・血管内科学 主任教授 朔 啓二郎（1 回生）



聖路加国際病院理事長 日野原 重明 先生(97 歳)

福岡大学創立 75 周年事業の一環で、医学部・病院創立 35 周年記念事業の企画・運営を当時の医学部長、病院長から依頼されたのが約 1 年半前、副病院長をしていた頃である。公開講座を主体に楽しい企画を考えてみた。多くの福岡市民の皆様に参加してもらいたい。要請を受けた瞬間から答えは決まっていた。日野原先生しかいない。私は米国内科専門医会 (ACP) の日本支部の理事をしているが、この二年間、毎年 ACP Japan Chapter の総会後のパーティーで乾杯の挨拶をし

ていただいているのが日野原先生である。日本のお医者様の中で、一番有名な方とご紹介しても過言ではない。先生は京都帝国大学ご卒業後、アメリカにご留学、現在の日本の内科学の基礎を作られた。「生き方上手」、「いま伝えたい大切なこと」等々、多くの本も常にベストセラー、2005 年に文化勲章、今なお精力的に様々な活動をされておられる。3 年後まで講演のスケジュールが詰まっている先生に、無理にお願いし来福していただいた。約 2000 名の方が応募されたため、中継ホールも作り、先着 1200 名の市民の皆様が天神エルガーラホールを満席にした。日野原先生のいのちの授業に、多くの感動と勇気をいただいた。35 周年宣言で幕をとじた。新聞報道や公開講座とおし、医学部・病院をアピールできた。とくに医学部烏帽子会、担当幹事の 11 回・21 回卒業生、医学部学生さんの熱いご支援の賜物である。医学部・病院を代表し心から感謝したい。



## 医学部、病院創立 35 周年記念行事と祝賀会

実行委員 吉 永 康 照 (呼吸器・乳腺内分泌・小児外科学 11 回生)



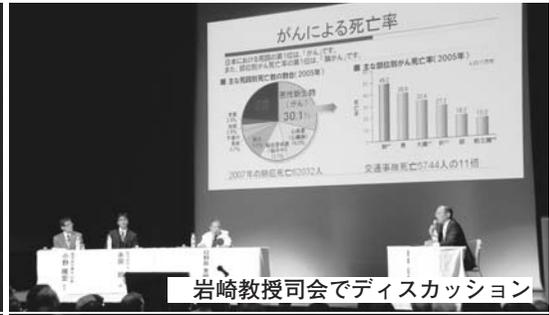
皆さんご存知の日野原重明先生の若さとパワーに圧倒された一日でした。

今年の第 27 回福岡大学医学部同窓会烏帽子会は、福岡大学医学部、病院 35 周年記念事業の市民公開講座と同日に催され、祝賀会は合同で行われました。11 回生にとっては、医学部卒業後 10 年目 (平成 10 年) に 1 回生と供に烏帽子会総会を担当してから 10 年振りの総会担当でありこれが最後の幹事学年という訳で、何をやったら良いのか、何をやるべきかと力が入る思いでした。ただ今回は前述のように、35 周年記念事業との抱き合わせという形でレールが敷いてあったため、幹事学年として喜んでいいのか、どうか中途半端な気持ちでスタートした次第です。11 回生の担当は、烏帽子会総会と祝賀会となりました。市民公開講座は朔教授のリードにより、打ち合わせの会合を重ねるうちに段々とその輪郭が見えてきましたが、日野原先生をお呼びして、烏帽子会始まって以来の大きな会を催そうということで漠然とした不安はありました。特に市民公開講座の出席人数は見当がつかず (日野原先生は自分の講演には、2000 人は集まるから

と言われていたそうです)、もしも人数が集まらない場合には学生も招集しないとけないと相談したのですが、新聞広告を出したとたんに応募の申し込みが殺到して流石“日野原先生効果”でした。そのために一般の申込者も第二会場に流れ、烏帽子会会員は第二会場に入場となりましたし、総会も小さな会場へ変更となりました。幹事学年として祝賀会を運営することと、卒業後 20 年目の同窓会として多くの同級生を集めることに専念しました。10 年前のノウハウを生かして、グループ単位で連絡を付けていきました。安浦美雪、武末佳子、松井美由樹をはじめとした強力な女性陣のリードにより形を作っていきました。いよいよ当日ですが、まさしく日野原先生を中心にした一日でした。市民公開講座の詳細は朔教授が別に寄稿されるので割愛しますが、満員の会場は日野原先生に沸き、日野原先生が退場されると参加者は続々と退席していきました。その後の祝賀会では医学部病院関係者が参加したこともありますが、例年よりも多くの方が参加して盛会でした。日野原先生も参加してくださり、その存在だけで会を一層盛り上げていただきました。11 回生としても、なかには卒業後初めて合う懐かしい顔と再会することができ (頭は勿論容姿の変化もおもしろく) 楽しい時間を過ごすことができました。20 年経つとそれぞれの生活の中で、いろんなことがあったんだと改めて感じたものでした。多くの同級生が二次会、三次会に流れていき、今度いつ会うともなく解散していきました。最後になりましたが、烏帽子会事務局を始めご支援ご協力を頂きました関係の皆様へ御礼申し上げます。



総合司会 朔、案浦



岩崎教授司会でディスカッション



パラディソ体操に水泳部が協力



森山先生のパラディソ体操



日野原先生と学長、有信会の方々



日野原先生と名誉教授の方々



学長のご挨拶



烏帽子会賞受賞者紹介



12,22 回生へ幹事引継ぎ



輪になって校歌

## 14期 理事・監事名簿

役 職	姓 名	回	勤 務 先
会 長	高 木 忠 博	1	脳神経外科クリニック高木
副 会 長	朔 啓 二 郎	1	福岡大学医学部 心臓・血管内科学
副 会 長	林 英 之	1	福岡大学医学部 眼科学
副 会 長	重 田 正 義	2	山崎リゾートクリニック
理 事	権 藤 公 和	1	権藤内科
理 事	前 川 隆 文	2	福岡大学筑紫病院 外科
理 事	竹 下 盛 重	3	福岡大学医学部 病理学
理 事	廣 瀬 伸 一	3	福岡大学医学部 小児科学
理 事	松 本 直 樹	3	松本病院
理 事	大 慈 弥 裕 之	3	福岡大学医学部 形成外科学
理 事	松 永 彰	3	福岡大学医学部 臨床検査医学
理 事	浦 田 秀 則	3	福岡大学筑紫病院 内科第一
理 事	岩 崎 昭 憲	5	福岡大学医学部 呼吸器・乳腺内分泌・小児外科学
理 事	小 川 厚	6	福岡大学筑紫病院 小児科
理 事	占 部 嘉 男	5	占部医院
理 事	田 中 伸 之 介	5	福岡大学病院 消化器外科
理 事	中 村 秀 治	5	中村クリニック
理 事	田 野 茂 樹	6	たの眼科医院
理 事	二 田 哲 博	9	二田哲博クリニック
理 事	笠 健 児 朗	12	笠外科・胃腸科医院
理 事	二 見 喜 太 郎	1	福岡大学筑紫病院 外科
理 事	蔵 田 善 規	7	蔵田眼科クリニック
理 事	岩 隈 昭 夫	8	福岡リハビリテーション病院 循環器科
理 事	坂 田 俊 文	10	福岡大学筑紫病院 耳鼻咽喉科
理 事	武 末 佳 子	11	北九州市立八幡病院 眼科
理 事	北 島 研	21	福岡大学病院 総合診療部
理 事	平 田 和 彦	12	福岡大学病院 麻酔科
理 事	永 井 宏	22	福岡大学医学部 精神医学
監 事	江 下 明 彦	2	医) 江下内科クリニック
監 事	柴 田 陽 三	4	福岡大学医学部 整形外科

## 福岡大学 医学部同窓会 支部長名簿

役 職	姓 名	回	勤 務 先
七隈支部長	松 永 彰	3	福岡大学医学部 臨床検査医学
筑紫病院支部長	石 井 龍	5	福岡大学筑紫病院 泌尿器科
福岡支部長	権 藤 公 和	1	権藤内科
福岡赤十字病院支部長	土 持 廣 仁	2	福岡赤十字病院 脳神経外科
北九州支部長	坂 本 博 士	2	医) 坂本眼科医院
飯塚支部長	二 宮 健	6	二宮医院
筑豊支部長	古 賀 哲 二	1	古賀整形外科
筑紫支部長	竹 野 文 洋	5	医) たけの内科クリニック
朝倉支部長	古 林 修 一	6	こばやし皮膚科
筑後支部長	甲 斐 保	2	医) 翠甲会 甲斐病院
佐賀支部長	福 岡 英 信	2	医) 福岡病院
長崎支部長	星 子 浄 水	7	医) 星子医院
佐世保支部長	富 田 寿 三	7	とみた産婦人科クリニック
熊本支部長	魚 返 英 寛	5	魚返外科胃腸科医院
大分県支部長	鬼 木 寛 二	1	医) 咸宜会 日田中央病院
宮崎県支部長	野 田 寛	4	野田医院
鹿児島支部長	山 下 互	2	医) 拓和会 山下わたる内科
沖縄県支部長	野 原 薫	3	のほら小児科医院
広島県支部長	井 上 忠 雄	2	さつき会井上内科医院
関西支部長	中 川 俊 正	1	大阪医科大学 感染対策室

研究奨励賞

## 平成 20 年度研究奨励賞選考報告

選考委員長 大慈 弥 裕 之 (3 回生・形成外科学教授)

平成 20 年度の烏帽子会研究奨励賞には 9 名の応募があり、今年の 6 月 10 日に 10 人の選考委員からなる研究奨励賞審査委員会です 3 時間にわたる審査が行われた。その結果、今泉聡先生 (福大 25 回卒) の論文が多くの審査員から高い評価を受け、最優秀賞に決定した。論文は、2008 年に Journal of the American College of Cardiology 誌に発表された「Antiarrhythmogenic Effect of Reconstituted High-Density Lipoprotein Against Ischemia/Reperfusion in Rats (合成高比重リポ蛋白の虚血再灌流性不整脈に対する抑制効果の検討とその分子機序の解明)」である。近年、冠動脈疾患の治療として、経皮的血管形成術 (PTCA) が広く行われるようになってきたが、その合併症の一つに虚血再灌流性不整脈がある。本研究は、合成 HDL の虚血再灌流性不整脈抑制作用について、動物モデルを用いて分子レベル、細胞モデルでの作用機序の解明を行ったものである。研究の結果、合成 HDL が内皮細胞における Akt/ERK/eNOS 経路を介して、NO 産生により虚血再灌流性不整脈を抑制することが明らかとなった。将来、合成 HDL による新たな治療の可能性が示された論文である。研究の精密性、および臨

床へのインパクトの大きさが高く評価された。

優秀賞には 3 名が選ばれた。2008 年の Clinical Genetics 誌に「Mutations of carnitine palmitoyltransferase II (CPT II) in Japanese patients with CPT II deficiency」の題名で論文を発表した安野哲彦先生 (福大 24 回卒)、2008 年の The Journal of Bone and Joint Surgery 誌に「Evaluation of Dynamic Instability of the Dysplastic Hip with Use of Triaxial Accelerometry」の題名で論文を発表した前山彰先生 (福大 25 回卒)、および 2008 年の Oncology Reports 誌に「Association between the expression of chemokine receptors CCR7 and CXCR3 and lymph node metastatic potential in lung adenocarcinoma」の題名で論文を発表した前川信一先生 (福大 22 回卒) である。いずれも国際的な一流誌に掲載された論文であり、内容的にも質の高いものばかりである。

優秀賞の選考には漏れたが、今後の研究の発展が期待される 4 名には激励賞 (副賞図書券) が贈られた。烏帽子会研究奨励賞には年を追うごとに質の高い論文、研究計画が数多く集まるようになってきた。うれしい限りである。来年度も学内外から多くの応募を期待する。



平成 20 年度授賞論文抄録

## 合成高比重リポ蛋白の虚血再灌流性不整脈に対する抑制効果の検討とその分子機序の解明（論文）

Department of Medicine at the David Geffen School of Medicine at UCLA

Post-Doctoral fellowship 今 泉 聡 (25 回生)

**【目的】** 今回我々は、合成高比重リポ蛋白（合成 HDL）の虚血再灌流性不整脈に対する抑制効果と、その分子生物学的メカニズムの検討を行った。

**【背景】** 最近の研究によると、HDL コレステロール値の低下が心臓突然死の一因となる可能性が示唆されている。現在、HDL コレステロール値を上昇させる方法としては限られた方法しか存在しないが、新しい治療手段として、合成 HDL が冠動脈疾患の治療及び予防のために開発されてきている。

**【方法】** 合成 HDL (1-palmitoyl-2-oleoyl-phosphatidylcholine(POPC)Apolipoprotein A-I(A-I) discs) による虚血再灌流性不整脈の抑制効果を検討するため、Wister ラット 92 匹を 10 群（合成 HDL 群、A-I 群、POPC 群、control 群、HDL+Nitric oxide (NO) 阻害薬群、HDL+Akt 阻害薬群、HDL+extracellular signal-regulated kinase(ERK) 阻害薬群、NO 阻害薬群、Akt 阻害薬群、ERK 阻害薬群）へ分けた。合成 HDL、A-I、POPC 及び各阻害薬を静注後、冠動脈の結紮、再灌流を行い不整脈の種類及び持続時間を記録した。次に in vitro の実験として、培養ヒト冠動脈血管内皮細胞に合成 HDL、阻害薬を加え、phospho (p)-eNOS、p-Akt、p-ERK の発現量を調

べた。また、ATP-binding cassette transporter (ABC)A1、ABCG1、SR-BI をトランスフェクションした Id1A7 細胞に対する、合成 HDL の ERK リン酸化作用についても検討を行った。

**【結果】** 虚血再灌流性不整脈モデルラットを使った実験では、再灌流後の不整脈（心室細動、心室頻拍）の持続時間は、合成 HDL 群において control 群と比較し有意に短縮していた。A-I、POPC 単独投与では、この効果は認められなかった。合成 HDL の効果は NO、Akt、ERK 阻害薬で消失した。また、合成 HDL 群では、血漿 NO 濃度の有意な増加を認めた。In vitro の実験では、合成 HDL は培養ヒト冠動脈血管内皮細胞において p-eNOS、p-Akt、p-ERK の発現を増加させたが、p-Akt の発現増加は Akt 阻害薬で、p-ERK の発現増加は Akt、ERK 阻害薬で消失した。さらに、合成 HDL は ABCA1、ABCG1 をトランスフェクションさせた細胞で p-ERK の発現を増加させたが、SR-BI をトランスフェクションした細胞ではこの効果は認められなかった。

**【結論】** 合成 HDL は血管内皮細胞での ABCA1、ABCG1 及び Akt/ERK/NO 経路を介した NO 産生により、虚血再灌流性不整脈を抑制する可能性が考えられた。

## Carnitine palmitoyltransferase (CPT) II 欠損症の遺伝子解析(論文)

福岡大学大学院医学研究科、腎免疫・代謝病態学 安野 哲彦 (24 回生)

### 【目的】

Carnitine palmitoyltransferase II (CPT II) は、長鎖脂肪酸の  $\beta$  酸化に関与する酵素である。CPT II 欠損症は、筋型では横紋筋融解症、全身型では多臓器不全、肝型では Reye 症候群様の症状が特徴的である。これまで国内における人種差や表現型と臨床症状などの関係を示した報告は少ない。今回、7 症例の CPT II 欠損症の家系調査を含めた遺伝子解析と酵素活性の測定を行った。

### 【対象と方法】

#### (CPT II 酵素活性)

CPT II の酵素活性を測定するために、皮膚線維芽細胞、リンパ芽球にて測定した。

#### (CPT II 遺伝子解析)

CPTII の酵素活性が低下している CPT II 欠損症の 7 症例及びその家族と健常人 (50 人) について、直接塩基配列決定法により CPTII の遺伝子解析型を決定した。

### 【結果】

#### (CPT II 酵素活性)

皮膚線維芽細胞、リンパ芽球を用いて酵素活性を測定したところ、全て低下していた。

#### (CPT II 遺伝子解析)

(症例 1) 5 歳、男性。肝型、F383Y と V605L による複合ヘテロ接合体。

(症例 2-5) 肝型、F383Y によるヘテロ接合体。

(症例 6) 24 歳、男性。筋型、Y408fs と R631C による複合ヘテロ接合体。

(症例 7) 21 歳、女性。筋型、F383Y によるホモ接合体。

健常人には、3 個の SNPs (F352C, V368I, M647V)

を認めた。

### 【考察】

CPT II 欠損症の遺伝子変異については、これまで 60 種類の報告がある。日本人では、F383Y のヘテロ接合体の変異で、幼児期に発症した症例の報告がある。このため、この変異は重症化すると考えられてきた。しかし、今回報告した症例 7 はホモ接合体であるが成人期に発症しており、臨床症状と遺伝子変異の関係は明確ではない。近年、結晶解析によりラットの CPT II の三次元構造が明らかになった。欧米人に多い S113L、今回認めた F383Y、V605L、R631C は、CPT II 分子においてアシルカルニチンが結合するトンネルの周囲に存在する。S113L は、水素結合とイオン結合に影響を与えると考えられており、F383Y も同様のメカニズムによるものと推測される。また、SNP と CPT II 欠損症の発症について調べるために、健常人の CPT II 遺伝子について塩基配列の決定を行った。CPT II 欠損症の SNP352 は、健常人と比較して有意な偏りがあることが分かった ( $p < 0.001$ )。

### 【結論】

欧米では CPT II 遺伝子の変異は、S113L が大半を占めるが、本邦の症例では F383Y が多い可能性がある。また、従来報告されているような遺伝子型と表現型の一致については確定的ではない。さらに、これまで報告されていない、2 個の変異を認めた。3 個の SNP の頻度を患者と健常人について比較したところ、コドン 352 に有意な偏りがあり、発症の誘因となっている可能性が示唆された。

## 臼蓋形成不全股における三次元加速度計による動的不安定性の解析(論文)

福岡大学大学院医学研究関節機能学 前山 彰 (25 回生)

本邦では変形性股関節症の患者の80%は先天性股関節脱臼あるいは臼蓋形成不全からの二次性変形性股関節症である。臼蓋形成不全から二次性変形性股関節症へ移行する要因としては機械的負荷・関節不安定性が挙げられる。機械的負荷についての報告は散見されるが関節不安定性についての報告は現在までない。今回、片側罹患例を対象として三軸加速度計を用いて臼蓋形成不全股の不安定性の評価を行った。対象は片側に臼蓋形成不全を認め、対側がCE角25°以上のコントロールとして用いることが可能な正常股である24症例48股とした。検査時の平均年齢は35.3歳(14-55歳)。レントゲン上、X線学的病期分類による前・初期関節症のみとし脚長差などによる跛行を認める症例や定量的な評価が困難なBMI25以上の症例は除外した。三軸加速度計(Kistler社製)を大転子部に大腿骨骨軸に平行に設置し、歩行時の接地時の加速度を計測した。加速度計を用いた不安定性の評価の正確性と信頼性については緒方・吉村らが報告しており、我々はその方法を股関節に用いて検討した。今回、センサーから得られたデータはアンプで増幅したのち、A/Dボードを介してデジタルデータとしてコンピューターで記録した。サンプリングレートは10kHzとした。歩行の安定した三回の接地時の加速度のピークをそれぞれ平均しベクトルの大きさを求めた。不安定性の評価は得られたX,Y,Z軸の三方向のベクトルを合成し $|a| = \sqrt{(ax^2+ay^2+az^2)}$ を行い、患側と健側で比較した。また、合成したベクトルの大きさとレントゲンデータ(CE角・Sharp角・

ARO・AHI)との関連を評価した。また、骨盤の動きの影響が無い事を確認するため上前腸骨棘にもセンサーを設置し計測した。患側・健側とも全例、接地時の三方向のベクトルはX軸は上方・Y軸は後方・Z軸は外側方向へ向かった。患側の各成分の加速度の大きさはX軸が $1.032 \pm 0.438m/s_2$ 、Y軸は $0.645 \pm 0.432m/s_2$ 、Z軸は $1.590 \pm 0.448m/s_2$ であった。健側の各成分のベクトルの大きさはX軸が $0.711 \pm 0.160m/s_2$ 、Y軸は $0.557 \pm 0.243m/s_2$ 、Z軸は $1.178 \pm 0.192m/s_2$ であった。また、加速度を合成したベクトルの大きさを患側と健側で比較すると有意に患側の不安定性を強く認めた( $p < 0.0001$ )。三軸のベクトルを合成した加速度の大きさはCE角、AHIともに負の相関を示した( $r = -0.732, r = -0.691$ )。またSharp角、AROには正の相関を示した( $r = 0.707, r = 0.509$ )。上前腸骨部に設置したセンサーより得られた波形は、動揺性の少ない波形であった。患側と健側の合成加速度の大きさは統計学的有意差を認め、不安定性の存在とレントゲンデータとの相関を確認することが出来た。上前腸骨棘に設置したセンサーの波形は動揺性が小さく、歩行時の骨盤の動きは股関節には影響は少ないと考えられた。加速度計による股関節不安定性の評価は有用であることが考えられ、通常歩行時においても不安定が存在することが示唆された。また、歩行時の不安定性は臼蓋形成不全の程度が強くなるほど大きくなり、結果よりCE角に最も相関し不安定性を予測する上で有用であると考えられた。

## Association between Expression of Chemokine Receptors CCR7 and CXCR3, and Lymph Node Metastatic Potential in lung Adenocarcinoma(論文)

独法) 福岡東医療センター 大学院生 前川 信 一 (22 回生)

**【目的】** 癌細胞において、ケモカインレセプターの発現が転移に関与しており、ケモカイン及びケモカインレセプターを介した臓器選択的な転移メカニズムも徐々に解明されている。大腸癌において CCR7、CXCR3 の発現がリンパ節転移に関与しているという報告があり、乳癌、前立腺癌などにおいても同様の報告が散見される。リンパ節転移をはじめ癌の転移は、悪性腫瘍の予後を規定する非常に重要な因子であり、原発性肺癌においても例外ではない。

しかし原発性肺癌において、CXCR3 を含めたケモカインレセプターとリンパ節転移についての報告はない。そこで今回原発性肺癌において、CCR7 及び CXCR3 の発現とリンパ節転移との関連を検討した。

**【材料と方法】** 肺腺癌細胞株 6 種類 (HLC-1, RERF-LC-KJ、A549、NCI-H838、NCI-H1395、NCI-H1650) を用いて、ケモカインレセプター CCR7 及び CXCR3 の発現を検討した。次に、肺腺癌細胞株 A549 を用いて、CCR7 のリガンドであり正常リンパ節に発現している CCL21、CCL19、また CXCR3 のリガンドである CXCL10 の存在下における細胞の遊走能の評価を行った。またこれらのリガンドの存在下での細胞動態をリアルタイムに観察した。

更に、当院で外科的に切除された原発性肺癌の中から、T1 (腫瘍径 3 cm 以下) でリンパ節転移陰性例及び陽性例を各々 10 例、合計 20 例を無作為に選別し、ケモカインレセプター CCR7 及び CXCR3 の発現を免疫組織学的に評価し、リンパ節転移との相関を検討した。

**【結果】** ケモカインレセプター CCR7 及び CXCR3 の発現を調べたところ、肺腺癌細胞株 6

種類全ての細胞株において CCR7 及び CXCR3 の発現を認めた。A549 細胞株を用いた遊走能の評価では、リガンド CCL21 の存在下で細胞の遊走能が濃度依存的に亢進した。また、レセプター CCR7 の中和抗体を用いたところ、有意に遊走能は抑制された。更に、リガンド CCL21 はレセプター CXCR3 とも親和性があり、これらの結合が遊走能を活性化するという報告があるため、肺腺癌細胞株においても同様の結果が得られるかを確認するためレセプター CCR7 と CXCR3 の中和抗体を併用したところ、CCR7 の中和抗体単独で抑制効果が得られた群と比べ有意差はなかったが、より遊走能が抑制される結果となった。リガンド CCL19 についても同様の実験を行ったが有用なデータは得られなかった。また、リガンド CXCL10 の存在下においても遊走能が濃度依存的に亢進し、レセプター CXCR3 の中和抗体を用いた評価でも有意に遊走能は抑制された。次に A549 細胞株を用いてリガンド CCL21 の存在下でリアルタイムに細胞動態の観察を行ったところ、肉眼的に細胞の遊走が亢進する状態を観察しえた。

更に、原発性肺腺癌の切除標本 20 例の免疫組織学解析では、CCR7 発現陽性例は 20 例中 13 例 (65%)、CXCR3 発現陽性例は 20 例中 18 例 (90%) 認めており、CCR7 の発現とリンパ節転移には有意な相関が得られたが、CXCR3 の発現はリンパ節転移と相関していなかった。

### **【結論】**

原発性肺腺癌において、レセプター CCR7 の発現はリンパ節転移に関与しており、CXCR3 の発現もまた関与している可能性がある因子であると考えられる。

## 研究計画報告

## 合成 HDL の多面的効果～炎症調節シグナリングに及ぼす影響 [計画]

福岡大学医学部心臓・血管内科学 助教 河村 彰 (17 回生)

HDL コレステロールの抗動脈硬化作用は広く知られているところであり、その動脈硬化は血管内の炎症反応が原因となっていることも明らかであるが、HDL の抗動脈硬化作用、抗炎症作用の有無、メカニズムについては未だ明らかでない。NF  $\kappa$  B は動脈硬化における炎症反応の原因となる転写因子の一つである。現在、合成 HDL がヒト血管平滑筋細胞において、炎症、ひいては動脈硬化を調節している細胞内シグナリングの一つ、NF  $\kappa$  B シグナリングに及ぼす影響についての研究を進めている。

Luciferase Assay あるいは NF  $\kappa$  B Binding Assay を用いた実験で、NF  $\kappa$  B は、ヒト血管平滑筋細胞において TNF  $\alpha$  あるいは IL-1  $\beta$  により著明に活性化されていた。

このヒト血管平滑筋細胞を合成 HDL である POPC/ApoA I とともに前培養した後、TNF  $\alpha$  あるいは IL-1  $\beta$  により NF  $\kappa$  B の活性化を誘導したところ、TNF  $\alpha$  により誘導した NF  $\kappa$  B の活性化に大しては、合成 HDL は何の効果も示さなかったが、IL-1  $\beta$  により誘導した NF  $\kappa$  B の活性化は、合成 HDL により著明に抑制され

ていた。すなわち、合成 HDL は TNF  $\alpha$  の受容体である Toll like receptor (TLR) ではなく、IL-1  $\beta$  の受容体である Interleukin-1 receptor (IL-1R) を介したシグナル伝達路のいずれかのシグナルの抑制を介して、NF  $\kappa$  B 活性化を抑制していることが示唆された。また、この合成 HDL の NF  $\kappa$  B 活性化抑制効果は容量依存性であった。

すなわちこれらの実験結果から、合成 HDL は、IL-1R を介した NF  $\kappa$  B シグナリング抑制→NF  $\kappa$  B 活性化抑制→炎症反応抑制→動脈硬化形成抑制 というメカニズムにより抗動脈硬化作用を発揮する可能性があり、HDL の抗動脈硬化作用のメカニズム解明、合成 HDL 創薬としての可能性を示唆するものである。

現在、合成 HDL が NF  $\kappa$  B シグナリングのどの部位の抑制を介しているのかを探るべく、NF  $\kappa$  B の上流のシグナル、I  $\kappa$  B や下流の MCP-1 などに及ぼす影響につき、追加実験中である。またその実験結果を論文発表という形で烏帽子会へフィードバックできればと考えている。

超微小血管の吻合技術 (Super Micorsurgery) を用いた  
卵巣移植・卵巣凍結による、妊孕性獲得の実験

東京大学形成外科・美容外科 助手・教官 三原 誠 (25 回生)

小児癌・若年癌患者に対し、抗癌剤治療、放射線療法は癌治療のために無くてはならない治療法である。しかしながら、これらの治療法の副作用として精巣・卵巣機能 (内分泌機能・妊

孕性) の低下を高率にもたらす。現在では妊孕性温存に対し、癌治療前に精子・卵子凍結保存の研究が進められてきている。しかしながら、精子と比較し、卵子は構造的に非常に不安定で

あり、凍結・解凍後の妊娠率は非常に低い。〔方法〕我々はその原因を血流の不安定さにあると考え、超微小血管吻合の技術を用いた卵巣臓器保存の研究を行っている。形成外科分野では 40 年程前から顕微鏡を用いた微小血管吻合のテクニックが進歩し、現在では 12-0 ナイロン糸（針 50  $\mu$  m）を用いて 0.3mm 程度の超微小の血管吻合が可能である。この技術を用いて、ラット卵巣 8 個・豚卵巣 12 個、カニクイザル 2 個の卵巣を細断した「組織」ではなく、「臓器」そのものとして移植し、また凍結保存した。卵巣動静脈を顕微鏡下に血管吻合することで移植する卵巣の血流を安定させ、高率に、また効果的に卵巣機能を再獲得できることが判明した。〔結果・

まとめ〕一時的・生体間卵巣移植、卵巣凍結保存は、癌治療後の妊孕性の温存に加え、卵巣の内分泌機能を温存する点では、anti-aging 効果、若年更年期障害、骨粗鬆症の予防等が獲得できる。血管吻合技術が進歩し、これまで不可能とされてきた生殖器（精巣・卵巣）移植が現実のものとなり、また、我々が開発してきた磁気共鳴現象を用いた卵巣臓器凍結保存の技術 (MRI freezing) は、形成外科より上述内容の研究がなされるのは、非常に珍しいことかもしれない。しかしながら、このような複数の領域にわたる難題をブレイクスルーするためには、様々な領域の専門家からのアプローチが必須である。

## 平成 21 年度 福岡大学医学部同窓会 研究奨励賞 募集要項

**対 象：**正会員及び準会員で、40 才未満の者または学部卒業後 10 年未満の者  
(本会会費完納を条件とする)

**研究課題：**医学に関するものであれば自由 (医学に関する研究計画又は研究論文)

**申請方法：**所定の申請書による (所定欄に支部長推薦を要す)

**提出先：**〒 814-0180 福岡市城南区七隈 7-45-1 福岡大学医学部同窓会事務局  
Tel 092-865-6353 (直通) 代表 092-801-1011 内線 3032 Fax 092-865-9484

**締 切：**平成 21 年 4 月 30 日

**賞状・賞金：**奨励賞 (優秀論文賞を含む) 5 件以内

**発表及び表彰：**平成 21 年 7 月、第 28 回同窓会総会席上

**その他：**①受賞者は研究報告書を提出する事。

計画受賞者は 1 年後研究成果報告書を提出すること。

③申請書は同窓会事務局に請求又は烏帽子会ホームページからダウンロードの事

④申請書はワープロで記載し、過去の研究業績 (原著、著書、症例報告、学会発表)、研究の独創性・重要性を十分に書く事

※準会員の方もご応募下さい。

# 平成 19 年度評議員会議事録

- ◆日時 平成 20 年 4 月 26 日 16 時
- ◆場所 福岡国際ホール
- ◆出席 評議員：実出席 35、委任出席 36、  
欠席 22  
支部長(再掲)：出席 11、欠席 9

## ◇経過報告

〈高木会長〉

土曜日の忙しい時に皆さんありがとうございます。19 年度経過報告の中で嬉しい事は呼吸器・乳腺内分泌・小児外科学教授に岩崎君が、臨床検査医学教授に松永君が昇格したことです。筑紫病院の教授選もありまして外科に前川君が、小児科に小川君が教授に就任しました。我々の卒業生で教授職に就いている福岡大学内の人数は 10 人になりました。2 桁の大台に乗り非常に嬉しい限りです。

子女の入試状況を毎年報告しておりますが、今年は 9 人(うち推薦 1 人)の合格がありました。今年の入試の事で皆さんにお話ししなければならない事があります。それは補欠入学に 4 人の子弟が含まれているという事です。補欠入学審議の時に教授会で卒業生の子弟を 4 人にとってもらうことになりました。本当は 6 人とれるようになっていたらしいのですが、2 人の枠の候補者が東京と新潟の学生さんだったようです。今の福大の状況は新臨床研修医制度になりまして福大で初期研修を受ける卒業生が激減いたしました。2、3 年前は 60～70%残ってたんですが今年は 19 人しか残らないという現状になり大学も危機感を感じております。大学の為に地元密着の方がいいのではないかとというムードが教授会の中に生まれている事を聞いております。子弟入学においては皆さんからも意見が出ておりましたが、風が我々の方に吹いて来たという雰囲気があります。

国試の結果ですが、今年はかなりの合格率が上がるのではないかと期待しておりました。新卒の方はそこまで行っておりませんが、既卒の方で今までで 27 人合格を待っている人がいましたが、27 人の内 21 人合格となり、35 年間の医学部の歴史の中で残っている者は 6 人だけに

なっています。残っている人が減った事は吉報ではなかったかと思います。資料を見ると新卒で 100 人以上合格を出した学校は国公立、私学合わせて 4 校しかありません。やはり 100 人をきっています。90 人以上の合格者を出したところは私学で 10 校、国立で 20 校、公立が一番成績が良いという結果がこれで見て取れます。新卒の合格者数が 100 人以上になるようなサポートが出来たらと思っています。

最後に私がお話ししなければならない事は 75 周年寄付のお願いです。医学部の中での寄付というものの意味、9 学部の中での医学部という存在、同窓会の活動、学内にいる同窓生のスタッフの背中を押す力として寄付活動は是非とも力を合わせて頑張っ戴きたいというのがお願いでございます。3 年計画ですのでまだ活動も途についたばかりですが、3 年はすぐ経ってしまいますので、皆さんのご協力を是非お願いしたいと思っています。一緒に頑張りたいと声をかけたいと思います。以上で報告を終わらせて戴きます。

## ◇議題 1. 平成 19 年度収入支出見込み

(池田事務局長説明)

[附]会費納入状況

(松本専務理事説明)

## ◇議題 2. 平成 20 年度事業計画(案)について

(田野常任理事全体説明)

### ④研究奨励賞説明(高木)

最初のうちは応募が出なくて困っていましたが、今は出すぎて困る程になりました。現役でやっている連中は本当に優秀で、学内外に勤務してアクティブにやっており甲乙つけがたい状況です。この賞をもらうのが非常に名誉な事になってきているのが嬉しい事です。選考委員は全員卒業生の仲間です。選考委員を 5、6 人と決めていましたが選考の目を増やす目的で学内でスタッフになっている人達は全員選考委員会に入って戴いて厳しく選考のクオリティーを上げるようにしたいと思って本日提案する予定です。

〈松本専務理事〉

これに伴い研究奨励賞の規定の変更をしないといけなくなりました。授与件数は「5件以内とする」と決めていましたが、このように非常に盛況になりましたので「概ね5件以内とする」に改正し、この改正規定は20年5月1日から施行させて戴きたいと思えます。

【註】議題4に提案、審議

⑥学生対策説明〈竹下専務理事〉

例年どおりやらせていただいています。5月23日新入生歓迎会(福新楼)を行います。また6月12日には国試激励会をモンレーで行う予定ですが、昨年と違う場所で行うのは、気分を変えて出来るだけ多くの学生さんに来てもらい、チームワークを良くして欲しいというのを狙っての事です。昨年まで少し下降傾向だったのでそれを復活して多くの学生に来て貰うことを目的に計画しました。M4激励会ですが、4年生の1月にCBTというコンピューターを使った教養のテストがあります。このテストは今から重要視される重要なもので、福岡大学は危機感を覚えてまして、CBT試験に対しての激励の意味を含めて実施しています。これも昨年はタカクラホテルで実施しました。ちょっと値が張りましたが学生さんは92名集まりました。チームワークを大切にしたいものですからそういうことになりました。ご了承戴ければ有り難いと思えます。

⑧国試対策説明〈松永専務理事〉

特に力を入れているのは夏期セミナーです。一昨年から実施して今年も7月25日から27日まで6年生の下の学生30人程度を予定しています。主に卒業生を中心としたメンバーで補講を組んでいます。国試対策への関係でいろいろな支援を行っています。

〈筑後支部・浅倉評議員〉

国試対策費についてですが、夏期セミナーは6年生だけを対象にするのでしょうか？既卒者の方については何か対策をたててありますか？本日特別参考資料で久留米大学医学部の既卒者国試対策部会というお手元にある資料を出させていただきます。久留米大学もかなり力を入れてやっておりますが、我が大学ではどうでしょうか？

〈竹下〉

国試対策の夏期セミナーはM6の学生さんだけです。国試対策費も在校生だけになっています。先生ご指摘の事に関しては、上手く対応が出来てないのが実情で

す。久留米大学の場合は呼び出してやっているということですが、それ以上はあまり聞いていません。どうしようかなと考えているところです。

〈浅倉〉

おこがましいようですが、お手元の特別参考資料を見て頂くとわかりますように、久留米大学医学部同窓会がいかに強いかということを物語っている文章かと思えます。我々の大学でもやはり既卒者に対してなにがしかのモチベーションを上げるような働きかけが必要かと思えます。今年は幸い良かったですが毎年こうとはいかないでしょうから、モチベーションを上げる対策が必要かと思資料として持って参りました。よろしくご検討をお願いします。

〈松本〉

先生へのお答えにならないかと思えますが、医師国家試験学校別状況を見て戴きますと新卒者は福大90.1%に対し、久留米95.3%。既卒者は福大77.8%に対し久留米70.0%となっています。今回は既卒者が押し上げています。福大のカラーと久留米のカラーとがあるのではないかと思えます。既卒者は福大からバット離れてしまいます。自分で予備校を見つけて勉強される方が多いんです。久留米は非常に上下の結びつきが激しいです。先輩後輩の結びつきもかなり強いです。単科大学であり、歴史と伝統があります。後輩の可愛がり方もすごいです。また主任教授も卒業生が多いです。学部長も病院長も卒業生が多いですから国家試験対策の先生方は福大より成績が悪いと丸坊主になったというケースもあります。それがいいかどうかは別問題ですがすごいものがあります。既卒者に対する対応は今後僕らも真剣に考えて行きたいと思っています。今年の学年はまあまあ成績なのですが実はこの数年では最悪の学年ではないかと言われていました。1年に入った時からだいたい良し悪しがあるようですが、どの教授も今年卒業した学年は最悪だと言っていました。卒業させられずに数名留年させた程不安の多い学年です。それで5年の時から一部外部の講師にもお願いしました。予備校の三苦先生や自治医大の河野先生を引き入れたのは実は高木会長の力です。問題の傾向や下位30人の学生への励まし方など国家試験対策へのテクニックという意味で教育とは別です。外部から招聘したことがとても良い刺激になって今回のある程度の成績に結びついたと思っています。一昨日父兄会がありまして学部長とも話をしましたが表向きには全く予備

校の話は出ませんでした。学内だけでやって果たしているのか親の立場として申し上げました。それは同窓会が一生懸命やってくれて予備校の先生も入れて下さっているけど表向きにはなかなか出せないと言われる方をしました。学部長がやがて我々の世代や同窓生の中から出てきたりすることによってがらっと変わることもあるのではないかと思います。

〈浅倉〉

先生が言われることはよくわかりますが、もう既に新卒者の不合格は9名出ております。ということは来年度の既卒者としての扱いが福岡大学は15名久留米大学は11名でございます。やはり既卒者に対する働きかけが必要だと思えます。仮に今回不幸にして不合格になった卒業生にはセミナーに案内する等の働きかけを是非して頂きたいと思えます。

〈竹下〉

昨年度の話ですが、夏期セミナーには実は彼等にも声をかけてはいます。しかしどうしても来れない本人達の事情があるようです。呼んでも来れなかったというのが本当のところ。浅倉先生が言われるようにそこをやらないと全体の%テージは上がりません。何かの方法を考えたいと思えます。これに関しては松永先生が国試対策委員長なんで、これを踏まえて計画を立ててくれるのではないかと考えています。

〈松永〉

昨年未から廣瀬教授に代わって国試対策委員長をさせて頂いております。先生のご指摘のような既卒者に対する対応は教育計画部の方で出石先生が個別には対応されていますが、実際授業を組んでいる等の事は致しておりません。声かけをしていることは聞いております。ただ先程も説明がありましたようにバラバラの状況なので国試対策のセミナーは3日だけのものなんです。実際はこれだけではとても出来るものではないのです。いろいろな状況全部をこちらでサポート出来るかと言うとなかなか難しいものがあります。先生が言われるように徐々にではありますが、改善して既卒者に対しても対応していきたいと考えております。

拍手をもって承認

◇議題 3. 平成 20 年度収入支出予算(案)

池田事務局長説明 承認

◇議題 4. 福岡大学医学部同窓会研究奨励賞規定、同選考委員会規則の改正について

〈重田〉

奨励賞の授与件数は「5 件以内」と決めていましたが、非常に盛況になりましたので「概ね 5 件以内」として、状況により対応しようというところ、選考委員については卒業生教授は全員選考委員になっていたかどうかということです。現在教授は七隈に 7 人、筑紫 3 人合計 10 人おられますので 10 人の教授は全員選考委員に入って戴こうということです。これは朔、林教授の提案でもあったのですが、同窓会の 1 つの話し合いの場をしたい、院内の同窓会のまとまり、繋がりをつける役割を担っていたかどうかという意味で、このような提案になりました。

〈5 回生・井上評議員〉

今は 10 人だからいいでしょうが、増えたらどうなりますか。

〈重田〉

あくまで全員入ってもらおうと思っています。増えることも十分あります。今そういう雰囲気であることをお伝えしておきます。

〈北九州支部・松村評議員〉

評議員会の議決で決定ですか？総会には？

〈重田〉

評議員会で討議、議決し、総会で承認をいただきます。

◇議題 5. 決算評議員会省略の件

承認

◇議題 6. 福岡大学創立 75 周年記念寄付金募集について

〈松本〉

福岡大学から年間 4 回出されている機関誌 FD に募金の状況(金額、卒業生、職員、その他に分類)が書かれています。最近募金事務局長他事務員の方ががらっと代わられてその影響がどうかわかりませんが、資料がこうして整うことが出来ました。本日の資料は支部毎の状況を表にしております。福岡県を離れている九州管内の県や他の都道府県におられる同窓生の納入率は結構高いです。全体としては 212 名が納付されて総額 33,260,000 円となりました。昨年の評議員会で最低 3 億

は集めたいのでどうぞご協力下さいと申し上げました。初年度ですので3300万という金額が多いか少ないかというの考え方だと思いますが、皆さん自分の出番を見計らっているところではないかと思っております。金額としては少し少ないぞという意見も理事会でも出ました。皆さんのご意見や質問を忌憚なくお話し願いたいと思います。

〈高木〉

病院の建て替えに遭遇するチャンスは何十年に1回しかありません。その機会に遭遇しまして大学と卒業生3千人が一つになってエポックメイキングな事をやりたいと思っております。これはみんなで協力しないと完成しない事だと思います。病院長の内藤先生もお忙しい時間を割いてこの会に出てきていただきましたし、大学の中での気持ち等を内藤先生より十分お聞きして我々のモチベーションを上げて寄付活動に突入したいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

〈内藤病院長〉

福岡大学医学部同窓会の評議員会に臨席させていただき本当に光栄です。ありがとうございます。今高木会長よりお話がありましたが、新診療棟の着工は少し遅れています。今年の秋頃には着工出来る予定です。もともとは着工している予定でしたが、ご存じのように建築法が厳しくなりました。実際はまだ許可が出ていない状況ですが9月頃には始められるだろうということです。同窓会の方と一番関係があるのは地下鉄を出た所に造る予定のメディカルホールです。中にはメディカルホールと、メディカルフィットネスというのを造る予定になっていましてメディカルホールには、主に同窓会が主体となると思いますが、同窓会関係の講演会、学内の勉強会が出来る300席位のホール、下には朔教授がご尽力されて心臓関係のリハビリをメインに出来るフィットネスが出来ます。ただ将来的経営的な事も考えて間口を広げてやった方がいいのではないかとということで今検討しているところです。このメディカルホールを造る事に特に同窓生の先生方をお願いしたいと思っております。ここの建築費が概算ではっきり決まっておりますが、7億5千万位かかるだろうということになっています。先程お話しがございました75周年の同窓生の方々212名3300万という金額と、一昨日聞きましたが、その他の方で新診療棟を特定して寄付して戴いたお金の合計が8千7百万円位で

目標額(7億5千万円)の1/10位です。僕も再度納めませんがなかなか苦戦しております。そういうことですので是非寄付をお願いします。法人の方は寄付額100万円以上、個人の方は5万円以上の方を記銘した銘板をメディカルホールのどこかに造るし、法人で500万円以上個人で100万以上寄付して戴いた方に対しては功労賞なり感謝状を作ろうということになっています。メディカルホールを九大の様に30周年会館、50周年会館等のような同窓生の方々が愛着を持つような名前にしておいた方が良かったのではないかと思います。例えば32周年会館のようなサブタイトルをどこかでつけることを考える方がいいのではないかとも思っています。何れにしても最後の頼みは同窓生でございますので寄付の方よろしく願い申し上げます。

〈重田〉

先ずそれぞれの立場からご意見を伺います。まず学内を代表して大慈弥先生どうぞ。

〈大慈弥専務理事〉

突然の指名なんですけど、まだ払っていませんので早く払えという意味で回って来たと思います。早目に払って皆さんにお願いしようと思っております。内藤病院長が仰いましたように我々が集まれる場所は欲しいですね。気楽に中と外の人間が交流出来る情報交換が出来るという場所がなかったというのが大きな問題でして、是非そういう場所を作っていきたいと思っておりますので是非ご協力の程よろしく申し上げます。

〈重田〉

今からは支部の方にご意見をお聞きして、どうすれば募金の集まりが上がるか皆さんとご相談したいと思えます。昨年度募金趣意書、会長挨拶、当時副病院長だった朔教授挨拶を同窓会からのお願いということで出させて戴きました。少し解りにくかったと思いますが、何分大学の本部が募金本体ですから4つのチェック項目において若干のチェック漏れもあったようです。全体の総額が読めない所もあり苦勞しましたが、最終的に総額が読めるようになりました。折角病院長がおみえになっておりますのでお尋ねやご意見をお聞きしたいと思います。

〈福岡支部・山崎評議員〉

こういう企画は忙しさに紛れて後回しになってしまいます。しつこく請求するの品がないかなとも思いますが。30万円を一括では厳しいので分割にした場合、タイミン

グ良く案内を受けると忘れずに払うことが出来るのではないかなというのが正直な気持ちです。一括支払いの場合はいいのですが分割の場合には半年に1回くらい催促ではなく勧誘のお誘いをこまめにしていくことも有効ではないかなと思います。周辺と同窓生と寄付について詳しい話をした事がないので解らないのですが、特に地元は関心があるようであまり無いという現状がありますので、半年に1回の割合で情報を提供し誘いをかけてみるのも一つの方法ではないかなと思っております。

#### 〈松本〉

学内としては毎年振り込み用紙を配るようになっているようです。半年に1回というお話しでしたのでそれは検討させていただかなくてはならないなと思います。

#### 〈重田〉

福岡県内は30万円、福岡県外の方は10万円と我々が勝手に決めさせて戴きました。数字を見ますと福岡県外の方の数字が思いの外良いような印象を受けます。

#### 〈鬼木大分県支部長〉

電話攻勢で「寄付をお願いします」とあちこちかけました。ふたを開けたら遠方において福大に対する思いを持っている方が多いことも解りました。しかし一部の中には何で払わないかんのかという意見を持っておられる方もおりますので、その方々と長々電話で話しているといささか腹の立つこともありました(笑)。大分は結構お支払い願えたと思いますが支部会等で追ってまたお話ししたいと思います。

#### 〈重田〉

我々や学内のスタッフも、支部会に出向いて行って皆さんの前で生の声で挨拶をして進めて行こうかと思っていますので、支部に呼んで戴いて皆さんにお願いしたいと思っています。よろしくお願いします。

#### 〈山下鹿児島部長〉

中味がわからないところがあって、どうして寄付を募るのかと。病院を建て直す為に同窓会から寄付して下さいというのは当然のことなのですが、いくつか整理して話をして下さいとよりわかりやすくなると思います。1つは同窓会が関与したいと。ホールを造る、それは同窓会が専用で使う、当然他も使われるでしょうが1つ明確な同窓会がこれだけ関与するんだ、同窓会の部屋なんだというものがあるかどうかということ。それとそれだけのお金は必要かどうか。建物を造るので必要なんです、それと別に医

学教育で私立大学の一人の医学生を育てるのに6年間で一般的に一億円かかるという話があります。授業料をいくらとってるのか?例えば3500万円ならば国からいくら教育援助があるのか?今2千万ですか。そうすると5~6千万一般的にかかります。その中で病院の収益を上げて、その病院の収益の中から一人の医者を育てていくんだという考え方がそこにあるのか?そのために新しい病院を造って医療の質を上げて教育の質を上げるという意味もそこにあるかどうか?私立大学を卒業した医者で国立大学を卒業した医者の根本的な違いが今の福大にあるのかなのか?単に頭がいいから医者になった、頭がいいから医学部に入ったという医者なのか、うちが医者だから医療を続けたいといけなく、地域の人のためにこれをずっと存続させないといけなく、地域の医療に貢献しないといけなく。代々そうだからなのか。それとは全く別に医療人として生涯を捧げたい。等いろいろな考え方がありますが、福大の教育の中でどういう形でそれが反映されているのか、そこに同窓会が入っていけるかどうか、その様ないくつかの論点を少し考えると寄付は集め易くなるかという気がします。

#### 〈重田〉

本質的なところですね。そこが一番大事な所だと思いますので整理して皆さんとディスカッションしていかないといけないと思います。

#### 〈権藤福岡支部長〉

私はそうこだわらんですつもりですが、皆さんが金額をどの位されるのかなという思いがありました。こうやって見てみると150万円もされた方から数万円の方もいらっしゃると。そういうことから様子を見てると感じではあります。

#### 〈重田〉

様子見の感じがあるということですね。まだあと2年ありますからね。趣意書は毎年1回は出さないかんと思っています。最後にはラストスパートをかけないといかんと思っています。

#### 〈佐世保支部・久保評議員〉

支部としてはこの話をしたことはないです。時々個人的に会ってこの話になるんですが、そのなかでよく出る話として県内が30万円県外が10万円の根拠がどこにあるのかというのが1つ。30万円を1口30万円と考えるのか、何万円でもいいのか?ということがよく話に出ます。

〈重田〉

数字の意味合いは殆ど無いと思います。県内外で新病院に対する恩恵と言いますか、関係する方としない方と分けただけだと思います。30万円という基準は他大学の同窓会を見てみると1口30万円が基準であったという事が根拠です。

〈久保〉

県内の場合は1口30万円と考えるのですね？

〈重田〉

そうですね。

〈高木〉

支部に戻られたら、75周年の寄付の話を盛り上げる事がまず大事なんじゃないかなと思います。是非皆さん、この話を支部に持ち帰って仲間にその活動をしっかりやっていただく様活動の趣旨を伝えて下さい。そして寄付の額を出来るだけ目的額に到達するようにご尽力をお願いします。

◇議題7. 医学部・病院創立35周年、  
同窓会発足25周年記念行事案内

案浦美雪先生より説明あり。

原案通り承認

◇議題8. 第14期会長の推薦について

現会長 高木忠博氏、会長に立候補の意思表示あり、全員一致で高木氏が推薦された。

〈高木〉

もう1回やらせて頂きます。75周年の寄付活動で我々同窓会の人間達が関与した福岡大学病院の中のホールを造ること、国家試験をとにかく西日本で1回最初に100%という実績を残すという事を目標に2年間頑張らせていただきたいと思いますのでよろしく申し上げます。頑張ります。

## 福岡大学医学部同窓会 在外研究援助金 募集要項

- 対 象**：正会員、準会員及び学生会員（本会会費完納を条件とする）で医学の研究または医療技術の習得のため、3ヶ月以上外国に留学する者
- 申請方法**：所定の申請書により留学出発3ヶ月前までに提出の事
- 提出先**：〒814-0180 福岡市城南区七隈 7-45-1 福岡大学医学部同窓会事務局  
TEL 092-865-6353（直通） 代表 092-801-1011 内線 3032  
FAX 092-865-9484
- 援助金**：1件20万円を限度とし、年間10件以内
- 発表**：その都度、同窓会会報に掲載
- その他**：①受給者は帰国後その成果を総会で口演するか同窓会会報に発表する事  
②申請書は同窓会事務局に請求又は烏帽子会ホームページからダウンロードの事

### 受給者名簿（平成19年11月以降）

今 泉 聡（25回生） アメリカ、ロサンゼルス  
カリフォルニア ロサンゼルス校  
（平成20年3月より2年間）

※準会員・学生会員の方もご応募下さい。

## 教授就任挨拶

## 「私が目指すこれからの救急医療」

救命救急医学教授 救命救急センター長 石倉 宏 恭



石倉 宏 恭 教授 略歴

- S61. 3 関西医科大学医学部  
医学科卒業
- H 4. 3 関西医科大学 大学院  
修了
- H 5. 9 関西医科大学  
救命センター助手
- H 7. 1～2  
阪神大震災医療ボランティア
- H 8. 9 ノースカロライナ大学  
外傷センター、熱傷センターにて研修
- H 9. 8 デューク大学 ER, ICU  
にて研修
- H 9.10～11  
国際緊急援助隊医療チーム  
インドネシア森林火災派遣
- H10.12 関西医科大学 高度救命  
救急センター医長
- H13. 5 関西医科大学  
救急医学科講師
- H15. 7 国立京都病院  
救命救急部 副部長・  
救命救急センター副センター長
- H16. 4 独立行政法人 国立病院  
機構 京都医療センター  
救命救急部部长・  
救命救急センター長
- H20. 4 福岡大学医学部救命救急  
医学講座主任教授  
福岡大学病院  
救命救急センター長

私は本年4月に救命救急医学教授ならびに救命救急センター長として福岡大学に赴任しました。どうぞよろしくお祈いします。

大阪生まれの大阪育ちで、昭和61年に関西医科大学を卒業しました。以来20数年間救急医療一筋に頑張ってきました。少し変わった経歴と言え、医学部入学前に早稲田大学へ通っていたことでしょうか。当時の野球部主将は現阪神タイガース監督の岡田彰布氏で、東京六大学きってのスラッガーであり、野球部は黄金時代でした。という事もあり、根っからの阪神タイガースファンです。野球観戦自体も好きで、福岡に来てからはタイガースに加えてホークスを応援すべく、すでに何度もヤフードームへ通いましたが、戦績の方は？です。

赴任当初は初めての地で期待と不安が交錯していましたが、今ではすっかり博多の街や博多っ子の人情が大いに気に入り、家族共々福岡大学にお世話になったことを心から喜んでます。ただ、貧乏暇無しで、スポーツや旅行が好きで私にとって、温泉やアウトドアをする機会に未だ恵まれていないのがとても残念です。

先程も紹介したように、20年余り救急医療一筋に歩んできました。その間、救急医療を取り巻く環境は大きく変化したと実感しています。阪神・淡路大震災を契機とした災害医療の整備、心肺蘇生法の重要性に関する地域住民への啓発・指導、地域の救急医療体制の整備、救急救命士の処置拡大に伴う教育など、病院内の通常業務に加え、消防、医師会、学会、行政などへの活動にも協力しています。

ここで、私の救急医としてのキャリアを紹介します。外科系サブスペシャルとしては腹部外傷や炎症性疾患の手術治療を中心に、劇症肝炎や重症膵臓の全身管理など主に腹部救急を中心に修練を積んできました。内科系では重症患者の多くが遭遇するDIC(播種性血管内凝固症候群)の診断および治療を主要テーマに取り組んできました。日本救急医学会のDIC特別委員会メンバーとして『急性期DIC診断基準』の作成に携われた事を光栄に思っています。

救急医としての20余年間はあっという間でした。そして、この間の研修医教育制度は大きく様変わりしました。これまでの専門

性重視の教育方針から、現在は初期研修においてプライマリ・ケアの重要性が唱えられています。私は教育の府である大学こそがプライマリ・ケア教育を率先して行い、将来は地域の救急医療体制に貢献してもらう人材の育成を行いたいと考えています。福岡大学においても、病院一丸となつていわゆる ER 型診療体制によるプライマリ・ケアの実践教育を早期に実施し、

将来の地域救急医療の核となる医師を育成するよう頑張るつもりです。

最後に、永年冬眠状態にあった救命救急医学講座のホームページ(下記)を7月にリニューアルしましたので、是非アクセスしてみてください。それでは今後の救命救急医学講座および救命救急センターに期待して下さい。

<http://www.med.fukuoka-u.ac.jp/ecom/>

## 脳神経外科とワイン

福岡大学医学部脳神経外科学 教授 井上 亨 (特別会員)



この度、平成 20 年 4 月 1 日より福岡大学医学部脳神経外科主任教授として着任いたしました。昭和 50 年宮崎南高等学校を卒業、昭和 56 年宮崎医科大学を卒業し同年九州大学医学部脳神経外科に入局いたしました。神経内科・第 2 外科・神経放射線科・そして脳神経外科といった 2 年間の大学研修の後、黒崎にある九州厚生年金病院に 1 年間お世話になりました。4 年目からは九州大学第 2 病理・神経病理で全身病理および脳腫瘍の病理を学び、実験脳腫瘍・血液脳関門の研究で医学博士を取得しました。昭和 62 年から 2 年間米国フロリダ大学脳神経外科に留学し微小外科解剖とマイクロサージャリー手術の勉強をいたしました。帰国後は 2 年間飯塚病院脳神経外科に勤務し救急医療と手術に没頭しました。平成 4 年に九州大学病院脳神経外科に病棟医長・外来医長として戻り研修医を指導する立場になりました。平成 7 年より国立病院九州医療センター脳神経外科医長として赴任し、脳血管内科の岡田靖先生と共に福岡市の脳卒中医療の発展に努力してまいりました。自己紹介はこれでおしまいにしてちょっとだけワインのお話をします。

10 年位前に福岡大学出身の T 先生のワイン会

に誘われて次第にワイン好きになってしまいました。最近、脳神経外科の雑誌に投稿した内容の一部を紹介します。

### 【ワインの心得】

ワインを楽しむ際に大切なことが 3 つあります。

1. ワイン好きな仲間を見つけること。それは、たとえ一緒に開けたワインの状態が運悪く良くなくても文句を言わない人たちです。まれに古いワインは状態が良くない場合があります。これは置かれた環境や取り扱った人間により台無しにされただけなのです。ワインには何の罪もありません。
2. ワインを楽しんでいる時に仕事の話をしないこと。人の悪口や仕事の愚痴を話す人とは決してワインを飲んではいけません。大切な時間を無駄にするだけです。
3. 酔いつぶれないこと。感動するワインとの出会いは一生忘れないものです。いつ誰と飲んだかも覚えています。相手に迷惑をかけるような飲み方をしてはいけません。最後に、最も大切なことがあります。それは信頼できるソムリエのいるお店を見つけることです。ワインは高価な飲みものです。ハイリスクハイリターンは手術と同じです。真のワイン好きを見つけて最初は一緒に連れて行ってもらうのが良いでしょう。

### 【外科医とワイン】

術者をめざして日々努力している若い脳神経外科の先生たちは grand cru (特級畑のワイン) です。10 年・20 年の年月を経てようやくその真価実力を発

揮します。数週間でそこそこの味に仕上が、「美味しいね」で終わるヌーボーワインとは根本的に異なります。じっくりと熟成しそれを口にしたすべての者に感動を与える偉大なワインのように、患者さん

に再び夢を与えるような外科医をめざしてほしいと思っています。ワインはそんな外科医のための命の水でありご褒美でもあります。

## これからの法医学教室

福岡大学法医学 久保真一 (特別会員)



久保真一教授 略歴

- S59.03 長崎大学医学部医学科卒
- S59.04 長崎大学大学院医学研究科(法医学)入学
- S63.03 長崎大学大学院医学研究科(法医学)修了
- S63.04 長崎大学医学部(法医学)助手
- H02.10 長崎大学医学部(法医学)講師
- H02.11 ドイツ連邦共和国・ハンブルグ大学法医学研究所に留学
- H05.04 長崎大学医学部(法医学)助教授
- H09.01 徳島大学医学部法医学教室・教授
- H16.04 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部・再生修復医歯学部部門・感覚運動系病態医学講座・法医学分野・教授(法人化、大学院化による名称変更)
- H20.04 福岡大学医学部法医学教室・教授

この度、柏村征一前教授の後任として法医学教室教授に就任いたしました。私、長崎市出身ですので、前任地の徳島から、故郷に近い福岡大学医学部の一員として迎えて頂きましたこと大変嬉しく思っております。

私の専門は、法医病理学で、特に頭部外傷を中心とした研究に取り組んで参りました。また、薬毒物による生体の変化を病理学的手法、主に免疫組織化学的染色法を用いて観察してきました。福岡大学医学部法医学教室は、初代の永田武明教授、第2代の柏村征一教授と一貫して法医中毒学研究に取り組んできております。私もこの伝統を引き継ぎ、法医中毒学研究の一層の発展に寄与したいと考えております。平成18年度より、司法解剖に関わる諸検査が、警察庁(県警本部)と大学の受託(検査)契約となり、全国で年間約9億円の予算がついています。福岡大学医学部法医学教室は、剖検資料からの中毒学的分析については高度な技術と実績を有していることから、今後、九州の、また西日本の中毒分析(受託検査の受け入れ)の拠点となるよう努力するつもりです。

次に、医学教育について述べます。相撲部屋における力士の暴行事件を契機に、昨年来、犯罪の見逃し、死因の究明制度の不備が問題となっています。わが国における死因究明の対象は、犯罪や事件・事故が中心で、司法解剖がこれにあたります。しかし、司法解剖の対象とならない死体の場合、たとえその死因が不明であっても、死因を究明する制度(監察医制度)は一部地域を除いてありません。福岡県にもありません。このような現状のもと、医師として、生きている患者さんばかりでなく、死んだ人を「診る」という考え方も重要です。医学教育においては、臨床医であっても死んだ人を「診る」こと(死体検案)ができる医師の養成を目指し、法医学の知識と技術(法医診断学)の定着に力を注ぎたいと考えております。早速、本年度から、法医学を受講している学年の希望する学生に対し、現場で死体検案の実験を体験する「死体検案研修」を開始しております。将来このなかから、法医学を志す後継者が生まれることを期待しております。

微力ではありますが、福岡大学医学部の発展のために、これまでの経験を活かし、教育、研究、法医学実務を通じた社会貢献に、尽力するつもりであります。

烏帽子会の会員の皆様におかれましては、今後とも法医学教室に対し、ご支援、ご協力の程、何卒、宜しく申し上げます。

## 就任ご挨拶

放射線医学 教授 吉 満 研 吾 (特別会員)



吉 満 研 吾 教授 略歴

- 1985.03 九州大学医学部卒
- 1985.06 九州大学医学部附属病院  
研修医
- 1987.06 広島放射線影響研究所  
臨床研究部放射線科  
研究員
- 1988.06 国立小倉病院放射線科  
レジデント
- 1989.07 佐賀県立病院好生館  
放射線科医師
- 1990.07 国立病院九州がんセンター  
放射線科
- 1991.07 米国テキサス州立大学  
MD アンダーソン  
癌センター臨床留学
- 1994.07 九州大学医学部附属病院  
医員
- 1995.07 九州大学医学部放射線科  
助手
- 1998.04 九州大医学部附属病院  
助手講師
- 2003.04 九州大附属病院 講師
- 2006.11 九州大学医学部 助教授
- 2007.04 九州大学医学部 准教授
- 2008.04 福岡大学医学部 教授

本年4月より、福岡大学医学部放射線医学教室に赴任して参りました。私は、昭和60年に九州大学医学部を卒業後、九州大学放射線科(現 臨床放射線科)に入局し放射線科専門医になることを目指しました。入局後は、広島、小倉、佐賀などの関連病院で臨床研修を積むなかで、多くの医局の先輩方が放射線医学の本場である米国に臨床留学されていたのに刺激を受け、私もECFMG/FLEX(現在のUSMLEに当たる)を受験し米国臨床留学の資格を得て1991-1993年の3年間 米国テキサス州MDアンダーソン癌センターで放射線診断部門のクリニカルフェローとして修練を積む機会を得ることができました。臨床留学にあたっては、当時の先輩の紹介のおかげで世界でも有数の癌センターで修練できたのは幸運だったと感謝しています。もちろん全ての面で米国が優れていたわけではなく、当時から消化器・消化管の分野は日本の方がすすんでいた印象を持っていましたが、放射線医学を3年間総合的に(特に日本で遅れていた骨軟部領域を含め)勉強できたこと、特に前半の1年半をIVR部門で、後半の1年半を当時に新たに体部領域での適応が急速に広がりつつあったMR部門で修練できたことは大きな収穫でした。また、実際の異国の医療現場で医師としての経験ができたことは、今振り返っても楽しく有意義な3年間であったと、懐かしく思い出します。

1994年に帰国後は、九州大学で腹部領域の画像診断・IVRを専門として研鑽をつみ、おもに上腹部領域(肝、胆膵、腎)で研究を行ってまいりました。最近の技術革新に伴い、画像診断も従来の形態診断に加え機能診断へとベクトルが変化しつつあります。ますます有用で興味深い知見が得られてきているところで、福岡大学においても教育・診療に加えて積極的に研究にも取り組んでいきたいと考えています。一方、当福岡大学医学部放射線医学教室には、第二代教授でいらっしゃいます岡崎政正敏先生の下、日本でも屈指のIVR診療の拠点としての実績があります。その歴史を十分受け継いで、IVRの面でも新しい時代に向けてこれまで以上に充実させて参りたいと考えております。当教室では核

医学、放射線治療にも優れたエキスパートを配っていますので、教育・診療・研究に非常にバランスのとれた体制がまさに整いつつあります。

今後、各科と協力して最先端の研究に関与しつつ、医学部学生に対して放射線医学の面白

さ、有用さを十分伝え、また、なるべく多くの卒業生に当科に入局していただき、優秀な放射線科医を多数世の中に排出していけるよう邁進していきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

## 教授退任挨拶

# 教授退任のご挨拶

元臨床検査医学 教授 小野 順子 (特別会員)



本年3月をもちまして、福岡大学医学部を定年退職致しました。

昭和59年、大分医科大学から郷里の福岡へ帰るに当たり、奥村 恂教授、浅野 喬助教授が主宰さ

れる内科第一(当時)に受け入れて頂いたのが福岡大学との出会いとなりました。九大第二内科の直系とも言える色合いの濃い内科第一で研鑽することをお許し頂くことになったご縁を、有難く思いました。事情により途中4年間、大分医科大学に異動致しましたが、平成3年、再度の復帰をお許し頂き、当初から数えれば25年の長きに亘りお世話になりました。インターン闘争、国家試験ボイコットの最中に医師となり、入局を拒否して転々とした前半生からは、予想もしなかったことでございました。

平成5年から臨床検査医学講座に異動し、臨床検査部の運営に携わり、中央部門としての視点で大学の医療に携わって参りましたが、ここで得たことは、後に病院の安全管理部門における責務に反映させることが出来ました。また、卒前教育で

は、教育の根幹に関わるカリキュラム編成に参画させて頂きました。今にして思えば、道半ばのもの、あるいは必ずしも適切でない発案もあったかといささか心残りもございます。

私に与えられた医学部と病院にわたる業務は、臨床をベースとして、多くの部署との協調により成り立つものであり、その折衝に可成りのエネルギーを使わざるを得なかったため、臨床に全力を注げないことを残念に思ったこともありました。しかし、これら1つ1つの経験が如何に貴重なものであったかは、現在、病床数160床の村上華林堂病院で、糖尿病センターを立ち上げて行くに当たり痛感致しております。多くの財産を頂いたことを感謝致しますと共に、新たな人生においてそれらを活用し、集大成したいものと願っております。

変遷する現在の社会にあって、医学部や病院におかれましても新診療棟の建設や医療制度改革への対応など、多くの課題に直面しておられることと拝察いたします。叡智を集め、新たな発展の契機とされますことをお祈りいたしております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 学生対策行事

# 学内における学生に関わる同窓会活動状況

福岡大学烏帽子会学生担当 竹下盛重 (3 回生)

M3 年生で病理学の教鞭をとっております竹下です。医学部学生部員という立場と共に同窓会の学内学生担当として学生の教育や生活改善に関わっております。同窓生の立場で烏帽子会の活動の一環として在校生への働きかけをいかにするかは大きな課題となります。また、同窓会活動を若い時よりみていただく良い機会と考え、M1 - 6 年生を対象に活動しております。烏帽子会執行部と学生担当係全員が一致協力して試みている活動を別表にお示しします。我々の仕事は、4 月桜咲く入学式での高木会長のおめでとへの挨拶に始まります。主な骨子は、出来る限り仲間意識を持ちチームワークを考えていただき、良い友達をふやして充実した学生生活を送ってほしいというのが柱となっております。現在、M1、4、6 年生の時期に料理店、ホテルで歓迎会、激励会を行っております。出席率は 95% 以上あり、私の授業の出席率も良い状況です。M4、M6 年生に関しましては、卒業生 (本年度は、呼吸器外科岩崎昭憲教授 (5 回生)、救急救命センター石河利之講師 (18 回生)、神経内科馬場康彦講師 (20 回生))、また我々を陰で支えてくれております自治医科大学国試対策室長河野正樹客員教授に講演をいただきました。懇親会は学生主導で行っております。学生から本格的な余興はまだ出ていませんが、これが出てくれればより楽しい充実した会になることと考えております。諸先輩医師との関わりと共に、個々人で活動する風潮にある中、福岡大学医学部というチームを考える気持ちをもつていただく良い機会と考えております。

学生の学業に関しましては、Don't forget the last position を理念に国家試験の常時上位 3 分の

1 をめざしております。個々人のモチベーション向上を目的として、積極的な学生や少しふるわないまだ目覚めていない学生をその気にさせるため、大学交換学生渡航費援助、夏の海外研修企画援助、M6 年生約 30 名の夏の 3 日間合宿の主催、援助等を行っております。(講師は大部分が同窓生) 上位、下位の学生さんに手厚く援助しているのが現状であり、自己の確立、研鑽をしていただけるものと考えております。この中で、米国大学研修は本年度初めて行ったものであり、卒業生が留学している施設へ M4 年生 4 人が伺いました。主に眼科林英之教授が企画しました。早い時期より広く海外に目を向ける学生、医師を養成することが目的ですが、学生にもまた訪問先においても好評でした。今後はこれに加えて、M3、M4 年生の夏休みに、同窓生が活躍しております大学周囲の中堅病院、地域の中核病院、離島の病院で 1、2 週間の濃厚研修を経験させたいと計画しております。学ぶ気持ちを恒にもつていただく積極的な学生、医師を少しでも多く輩出出来るよう援助したいと考えております。

最後に、輝かしい報告があります。昨年度環境庁主催エコジャパンカップ、ミュージック部門で M5 年生幸喜沙里さんが最優秀賞を受賞しております。また、本年西医体サッカー部門で、本学が優勝しました。この栄誉は医学部の全学生にやる気と自信をもたらしてくれたと思います。このように丸山、西医体等体育文化系大会で優勝しましたチーム、個人に対しても同窓会賞を出していただいておりますが、このことが励みになっているのかもしれませんが、そのうち同窓会員からどでかい方が出てくるものと思いますが、その前にすこしうれしい花火

が上がりました。

同窓会の方針としまして学生への援助を積極的  
にさせていただき、内部にいます同窓生は心強い限り  
です。ここにいます学生は近い将来医師になり、ま  
だまだ若いこれからの福岡大学医学部、同窓会、

また医療界をリードしてくれると確信しております。

烏帽子会員のご援助と期待を追い風として、モ  
チベーションの高い学生、医師になっていただ  
く様、今後とも学生係全員で努力いたします。

### 表. 学生に関わる同窓会活動(平成 20 年度)

- 4月 入学式、会長挨拶。  
M1 年生歓迎会(福新楼、全員)。
- 5月 M6 年生韓国啓明大学交換留学支援(10 名、韓国)。
- 6月 M6 年生講演会、国試激励会主催(ホテルモントレー、全員)。
- 7月 同窓会総会への学生参加(約 20 名)、同窓会賞授与式(九山、  
西医体その他の大会で優勝したチーム、個人に賞状と賞金)。  
M6 年生夏期集中講座主催(福大セミナーハウス、25 名、3 日間合宿)。  
M7 年生との懇親会、激励会(鴻臚、7 名の M7 生と会長以下 6 名)。
- 8月 M4 年生海外研修企画援助(本年は 4 名がボストン、オクラホマ、  
オークランド、ロスアンゼルススの大学施設で 2 週間の研修)。  
M4 年生、病院研修支援(試案;1 名福岡日赤病院で)。
- 9月 M4 年生講演会、CBT 激励会(ホテルモントレー、全員)。
- 11月 七隈祭支援。
- 3月 卒業式、謝恩会会長挨拶。  
M5 年生白衣授与式(全員に白衣を贈呈する)。

### 平成 19、20 年度 烏帽子会賞授賞者名簿

年月日	学年	姓 名	受 賞 対 象
19. 7.14		ゴルフ愛好会	平成 19 年度九州山口医科学生体育大会 ゴルフ部門団体優勝
19. 7.14	3	竹 山 文 徳	平成 19 年度九州山口医科学生体育大会 柔道部門 75kg 以下個人優勝
19. 9.21	5	三 股 亮 介	第 24 回全日本医科歯科学生サーフィン 選手権大会優勝
19.11.30	5	山 田 和之介	スカッシュ Prince Cup 九州大会優勝
20. 4.18	4	幸 喜 紗 里	Eco japan Cup 2007 エコミュージック部門 グランプリ受賞
20. 6.20	2	竹 山 文 徳	平成 20 年度九州山口医科学生体育大会 柔道部門中量級個人優勝
20.11.21		サッカー愛好会	第 60 回西日本医科学生総合体育大会 サッカー部門優勝
20.11.21	4	揚 塩 真 崇	At 2008 The Medical English Speaking Society 優勝

会員寄稿

## 蕎麦打つ産科医

内田産婦人科 内田 克彦 (4 回生)



以前より蕎麦を食するのを好みにしていた小生は、数年前から信州蕎麦の頒布会（霧しな蕎麦）に入会して、毎月生蕎麦を宅配してもらって楽しみにしていた。ごく自然の成り行き

として自分でも打ってみたいなあと思い、ちやちな蕎麦打ち入門セット 1 万円なりと入門用の教本を買って、打って見たことがあるが、きし麵かうどんかと思いがうような蕎麦ができ、くやしい気持ちを封じ込め、そのままあきらめてほったらかしにしていた。そして、僕は蕎麦を茹でるのだけは誰にも負けないなどと嘯っていた。

人生出会いだとはよく言ったもので、今年の 5 月、その出会いがあった。ゴールデンウィークに家内の関係者が我が家に集まりお食事会をした時、来られていた JA の職員の方が、小生が蕎麦が好き、自分で打って見たがうまいかなかったと聞いて、JA で使っている蕎麦打ちセットをわざわざ持ってきて目の前で打って見せてくれた。本で読むのとは違って、蕎麦打ちの概要が頭にすーっ

とはいい理解できた。一筋の光明がさしたような気がした。そして、お食事会が終わり際、今年の大晦日までは用がないので、練習して大晦日には手伝っちゃくれと言って一式セットをおいて帰られた。これはチャンス！おもちゃのような入門セットとは違って、いかにも重い蕎麦切り包丁と立派なし台を見て、むらむらときた。さっそくインターネットで入門用そば粉（あらかじめ 2:8 に調合しており、蕎麦切れも少ないというふれこみ）を注文して、自分で打ってみた。以前、わけがわからず打った時とは違い、何かしら手ごたえを感じた。出来上がった蕎麦を家内は何も言わずに食べてくれた。きっとおいしかったんだろうと勝手に思い込んで今日までできたが、あの時ははっきり言ってまずかったけどあなたの顔があまりに真剣だったから何も言えなかったと今になって言っている。もし、あの時はずいといと酷評されたなら、蕎麦打つ産科医はこの世に生まれなかったかもなどと思い感謝している次第。ひるがえって考えるに、人を伸ばすのは褒めるに限るということか？

それからは、積年の思いを晴らすかのように打ち続けて、本日まで、100 回を越える蕎麦打ちを行った。（70 数回までは数えていたが途中からわからなくなってしまった）何事もそうかもしれないが、最初の 20 回くらいまでは、打つたびにうまくなるのが実感され、自分で言うのも何だが、目に見えてうまくなった。蕎麦を打っては教本を読むの繰り返し。打つたびに、読むたびに新しい発見があった。あー！勉強とはこうやってするんだ！と、人生 51 年かかってやっとわかった気がした。教科書というものはなんと奥深いものか！どこかに必ず何か行き詰まったときのことが書いてある！しばらく経って読み返すとまた何か新しい発見がある！最近はこの高橋名人の DVD まで買いこんでまた新しい発見、

読む以上に見ることの大切さも学んだ。大学の医局にいた頃、手術をする前後に自分はいったい何回手術書を読んだことか？もし、それを実践していたら今頃はずっと手術の上手な医者になれていたかもと反省している次第。

最初は微妙な顔をして食べていた看護婦達が今では、先生、今度はいつ蕎麦打ってくれるん？と催促します。高校の同級生の間では、蕎麦処うちん亭と言われて悦にいつている。近頃では、才能のない者が努力しないとうなるの見本が私のゴルフ、才能のある者が努力をしようなるのが私の蕎麦と自惚れている。

そうそう、9月2日に母校の京都高校の同窓会(常磐会)を開催した時、実行委員長に祀り上げられた小生は、イベントにお呼びしたフリージャズで世界的に有名な山下洋輔さんが蕎麦が大好きと聞き、恐れ多くも、歓迎会の2次会で彼の目の前で蕎麦を打つという光栄に預かりました。彼の目の前で蕎麦を打ったときは緊張で足ががくがく震えて視界が妙に狭くなった気がした。出来上がった蕎麦は残念、実力の7割も出せなかった代物であったが、なんとか合格点

と言いながらつゆもつけずに蕎麦をすすする(そうすると蕎麦の良し悪しはわかる)洋輔さんには心の中で頭を下げました。この次の機会にはキットモットウマイソバクワセルケン!!

蕎麦打ちは、蕎麦粉をこねだしてから蕎麦が茹で上がるまで約1時間。逆に言えば1時間ですべて完結する真剣勝負。水の量が3cc、いや2ccでも微妙に変わると、もう出来上がりが変わってくる。途中であかんと思っても、修正不可能な一発勝負。この真剣勝負がたまらない。1時間、一心不乱に時間が経つのも忘れて没頭でき、その後には



おいしい、おいしいとみんなの笑顔が待っている。長年医者をやってきて、患者さんにお礼を言われるのとはまた違った喜びがふつふつと湧き上がってきて、最高の気分転換になる。

味や食感は蕎麦粉の種類によってもまた全然出来上がりが違ってくるのでこれもまた楽しい。最も高い類の蕎麦粉で、1kg、10人前が1700円くらい、普通は1200円くらいなので、気軽にいろんな蕎麦粉をネットで注文して味の違いを楽しんでいる。岳父が竹田市に在住で、先日、知る人ぞ知る有名な波野の蕎麦粉を送ってくれた。知り合いの農家の人に分けてもらったのだそう。蕎麦は信州と思い込んでいた小生には目からうろこの思いだった。

ここまでいろいろと偉そうに蕎麦打ちの話をしたが、まだまだ経験100回あまりなので、自分の思い描くようには全く打てないが、たぶんその辺の蕎麦屋よりずっと美味しい蕎麦が打てるようになったような気がするし、食べたみんなもそう言ってくれる。(その辺の蕎麦屋さん、ごめんなさい)しかし、目の前に広がる深遠なる蕎麦道の世界が自称天才の小生には見える気がして、今日もまた腕がムズムズする。実は先ほど初めて、にしん蕎麦を作って息子に褒められた。もちろん生粉打ち(10割蕎麦)にも挑戦中で、だんだんものになりつつある。最近、家内が立派な作務衣を拵えてくれ、ますますモチベーションが上昇中。(まだまだおあついで)

今後はめんつゆを作ったり、石臼をどうやって手に入れようか、業務用のもつと火力の強いコンロが欲しいなあなどいろんな新しい展開を考え、わくわくしている次第。

休みに外に出れないわれわれ産科医にとって、蕎麦打ちが格好の、そして、究極の趣味でしょう。この文章を読んで、小生に弟子入りしたい奇特な方がいれば、いつでも芋焼酎でも持っておいで下さい。お産中でなければお相手いたします。蕎麦は、清酒!百歩譲って蕎麦焼酎!という声が聞こえそう、でもそんなのカンケイナイ!なんちゃって、おあとがよろしいようで。

## 戦略的な研究とは

東京大学 形成外科・美容外科 三原 誠 (25 回生)

### 【はじめに】

平成 20 年度・21 年度 文部科学省・科学研究費補助金より私の研究に 2000 万円近くの研究助成 (研究課題名; 小児血液癌患者の妊孕性温存研究～超微小血管外科技術を応用した患者 QOL 向上～、若手研究 A、課題番号 20689020 研究細目; 小児血液、研究代表者; 三原 誠) を頂けることとなった。所信表明として、私の研究における考え方をご報告させて頂ければと思います。これだけの研究助成金額は、39 歳未満の医学系研究者 (内科系・外科系医師) において、東大内で 2 番目に大きな金額をいただいているとのことであった。小児癌・若年女性癌の患者さんのため、新しい治療法を確立したいと考えている。

### 【本文】

臨床医が基礎研究を行うに際して、「戦略的な研究」を心がけなければならない。なぜなら我々は、時間が無い。研究協力者がいない。研究費を持たない。研究設備が無い。無い無いづくしでスタートしなければならないからだ。そんな無い無いづくしの我々にとって、「戦略」は非常に重要なキーワードである。タイム・マネジメントも必要であるが、最も重要なことは研究の「方向性」の決め方である。

では臨床医である我々は、どのような戦略・研究方向性を持つべきなのであろうか。気合(?)で、基礎研究者と同じ研究を行うことはもったいない。なぜなら「我々臨床医は、本当に何も持っていないのだろうか?」という問いに対して、はっきりと否定できるからである。我々臨床医は基礎研究者が持ちえない、研究に関する「強み」を持っているのである。

まずは、自分自身の強みを考えてみよう。そうすると少しずつ頭に浮かんでくる。それは我々臨床医の「医療技術」と「アイデア」である。

「医療技術」とは、画像診断技術や、カテーテルの技術、内視鏡の技術、血管吻合等の技術であ

る。その中で、私が持つのは、「超微小血管吻合技術」という世界中でも少人数の医師しかできない貴重な技術である。これらの技術を使って、我々臨床医は日夜患者さんを救っている。その臨床におけるノウハウ・経験は、基礎研究者が行う技術とは比較にならないほどの強みである (基礎研究者も我々臨床医が持たない、特殊な技術をたくさん持っているが……)。

続いて「アイデア」に関して。「アイデア」という言葉は、EBM が重視される医療界ではなんとも怪しい言葉である。しかし、我々が日常的に行っている医療はすべからずこの「アイデア」から生まれている。では、この「アイデア」の源泉はどこにあるのだろうか? 私のモットーとして、その大きな源泉は常に患者さんにある。患者さんの痛みや辛さを聞き、我々臨床医は常に頭を悩ます。多くは簡単には解決できないものだが、中にはとびきりの解決策が見つかることがある。それが「アイデアの素」である。

我々臨床医が基礎研究を行うにあたり、重要視すべきものはこの 2 点である。自分達しか持ちえない特別な「医療技術」を強みと認識し、その可能性を考える。さらには、そこに自分だけの「アイデア」のエッセンスをふりかける。ここに独創的で、新しい研究計画が生まれる。

研究計画を考えたのなら、これだけは気を付けておかないといけないことがある。それは、そのアイデアを研究として進めていく際に、常に自分の患者さんの顔を思い出しながら研究を進めることである。つい、研究を進めるにつれ、計画を立て現実的に成るにつれ、万人受けする治療法を開発しようという欲が出てしまう。しかし、万人受けを狙うその考えは、結局は凡庸な結果にしかならない。自分自身が受け持つ目の前の患者さんの悩みを、(大きな悩みでも小さな悩みでもよいが……)、真摯に受け止め、1 つずつ解決すること。その 1 つずつ

つの小さな積み重ねが、基礎研究者が行う大規模研究を凌駕する、とびっきりの新規性・独創性を有する研究となるのではないだろうか。

結局、基礎研究とは病気を治すため、患者さんを救うためのボランティア行為である。患者さんの存在を忘れた研究は、多額の研究費をつぎ込んで、意味の無い研究になってしまう。

臨床医にとっての基礎研究とは、自分自身の目の前の1人の患者さんを助けるために行うこと。これまで世界中の誰も解決することができなかった、些細な悩みを解決すること。自分の目の前の患者さんに1つの「喜び」をプレゼントしてあげること。これだけでも臨床医としては重要な仕事である。研究の方向性は、ここに決定する。

たかが目の前の1人と考えてしまうかもしれないが、医学誌に報告したその研究によって、世界中のたくさんの人々が救われる可能性があり、自分が思いもよらなかった疾患に応用されるかもしれない。

**【追伸】**

福大を卒業して7年目。充実した毎日を送ることができています。仕事・生活ともに全面的にサポートしてくれている家族(妻・聡子)に感謝しています。

写真は、2007年5月にシンガポール国立大学で、ライブ手術「Super micro-surgery (超微小血管吻合)」を行なった際の写真である。



To 朔 啓二郎 教授 From 今泉 聡さん

暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか? 私は毎日ラボで楽しく実験しております。

この10日間は福大から学生が研修に来て、一緒に実験をしていました。

最近ではLC/MSをつかって動物や人のサンプルで、oxidised lipidの測定をしております。

日本に帰っても必ず役に立つものと考えて頑張っています。

ボスの家でのホームパーティ、ラボの中、飲み会の写真を添付致します。

飲み会の写真は、日本から来た学生も一緒に写っています。

それでは、A H Aの時にお会いするのを楽しみにしております。

今泉 聡



Dear Satoshi: 元気でなにより。頑張るように。学生さんの面倒みてくれてありがとう。

Prof. Saku

## 教室紹介

# 呼吸器・乳腺内分泌・小児外科

呼吸器・乳腺内分泌・小児外科学 医局長 吉 永 康 照 (11 回生)

福岡大学外科部門は、2006年10月より外科部門における診療科臓器別再編作業が開始され、第一外科・第二外科は統合により福岡大学外科講座として一体化されました。旧第二外科の一般胸部外科部門が中心となり白日高歩教授が率いる「呼吸器・乳腺内分泌・小児外科教室」が編成されました。2008年4月より岩崎昭憲教授が就任され新たなスタートを切っています。

「呼吸器・乳腺内分泌・小児外科教室」の診療内容は、

- ①呼吸器外科(一般胸部外科): 肺外科・縦隔胸膜外科・気管食道外科・内視鏡外科・肺移植外科
- ②乳腺外科: 乳腺および甲状腺等、内分泌外科一般
- ③小児外科: 小児、新生児外科です。

診療の中核は一般胸部外科として呼吸器外科、食道外科(消化器外科と共同診療)、および乳腺甲状腺外科、および小児外科であり、胸部外科領域では特に低侵襲術式としての胸腔鏡手術を広く適応することを特徴としています。主要対象疾患である肺癌手術は年平均約120件、食道癌手術は30件です。その他胸部外科関連手術総数は年平均450件。手術以外の外科治療として気道狭窄に対するステント治療を主体とした気道インターベンションにも積極的に取り組んでいます。

近年の特筆すべき事項として2005年に九州で初めて脳死肺移植の実施施設として認可され、2006年1月には生体肺移植の高度先進医療指定を受けました。現在まで合計5例

の肺移植手術を行い成功させることが出来ました。九州での肺移植医療の中心施設として、他施設との連携を図っています。

乳腺内分泌外科では教室統合により年間50-60例の乳癌手術が実施され、手術はセンチネルリンパ節生検を併用した乳房温存手術が主体となっています。低侵襲的治療として早期乳癌症例に対して、ラジオ波熱凝固療法の臨床試験を放射線科と病理部とともに開始しています。乳房にメスを入れない手術法の確立を目指しています。乳癌に対しての術前、術後の化学療法や内分泌療法も積極的に行なっています。また、小児外科については一般的な小児外科疾患のみならず総合周産期母子センターとタイアップして胎児診断、先天性新生児疾患外科を積極的に展開しています。

関連施設としては、福岡東医療センター、鹿児島今給黎総合病院、聖マリア病院、済生会二日市病院の各施設の呼吸器外科部長として従事しています。教室の関連施設を合わせると年間1000例の開胸手術を行っています。海外留学先として現在トロント大学総合病院(カナダ)、コペンハーゲン



王立大学病院（デンマーク）、国内留学として癌研付属病院病理部に出向しています。またハーバードダナファーバー研究所へも留学を行っております。新体制が始まったばかりですし、これまでの実

績を土台として更なる発展を目指しています。それには若い力の導入が不可欠で、広く新人を募集して将来の福岡大学外科を担う外科医として育てていくことも我々の使命と考えています。

## 麻酔科学教室紹介

麻酔科学医局長 香 取 清 (13 回生)

周術期管理、術後鎮痛サービス、外科系 ICU、疼痛治療（麻酔科外来）および緩和ケアサービスが、主な臨床活動です。

手術症例は年々増加の一途をたどっています。平成元年 4143 症例だった手術症例が。平成 19 年には 6887 症例となっており、ほぼ 2700 症例の増加です。手術症例の約 15% は緊急手術であり、長時間の手術も多く、午後 7 時に 4～5 例の手術が行われていることが多くなってきています。

平成 11 年 4 月より、術後鎮痛サービスを開始しました。特に術後の疼痛が激しい開胸術や上腹部手術では全例に、患者自身が術後痛を軽減できる PCA (Patient Controlled Analgesia) ポンプを使用した術後疼痛管理を行っています。朝夕 2 回の回診によりきめ細かい術後痛の治療を行っています。

平成 14 年 10 月に、待望されていた外科系 ICU (4 床) が手術部に開設されました。主に開心術、開胸術、上腹部手術、合併症を有する患者などの術後管理を、現在、外科系各科医師が総力をあげて行っています。

臨床研究は各種疾患での筋弛緩薬の作用と投与されている治療薬の筋弛緩作用との関係について、また成人および小児において筋弛緩モニター的部位に関して、現在検討しています。また、平成 19 年の 4 月より形成外科より麻酔科に入局した原賀勇壮くんを中心にカテーテル感染の研究も行っています。

麻酔科外来では年間約 600 名の新患の治療をしています。帯状疱疹が 24% で最も多く、他には複合性局所疼痛症候群 (CRPS)、頭部・顔面痛、末梢性顔面神経麻

痺、癌性疼痛、腰下肢痛、三叉神経痛、顔面痙攣などが治療対象です。全身疾患を合併している患者の手術前診察の依頼も多くなっています。特に帯状疱疹急性期の痛みの激しい患者さんは入院していただき、持続硬膜外ブロックを行い、急性期の疼痛の除去と帯状疱疹後神経痛への移行予防に効果を上げています。帯状疱疹に関連した研究として「帯状疱疹後神経痛の発症のメカニズムの研究」、「帯状疱疹後神経痛患者の瘢痕皮膚の C 侵害受容線維の研究」を行っています。

身体的・精神的・社会的苦痛などあらゆる入院中の苦痛を軽減するために、平成 18 年度より緩和ケアチームの活動を行なっております。麻酔科はチームの中心となり、年間 70 名程の新患の疼痛に関する問題に、積極的に取り組んでおります。オピオイドの効きにくい癌性疼痛に対し、透視下での神経破壊薬を用いた神経ブロックも行なっております。【スタッフ】比嘉和夫教授、仁田原慶一准教授、松永万鶴子講師、併任講師 2 名、助教 11 名、助手 11 名、研修医 4 名、総勢 31 名。(2008 年 9 月現在)

<http://www.med.fukuokau.ac.jp/anesthe/top.htm>



キャンパスだより

## 西日本医科学学生総合体育大会優勝報告

福岡大学医学部サッカー愛好会 原田 亮一 (M3)

平成20年8月13日。この日は福大医学部サッカー部にとって記念すべき日となった。少なくとも現部員は一生忘れることの出来ない日となったに違いない。愛知医科大学との優勝戦、PK戦最後のキッカーとなった西島至令がゴールを決めた瞬間、ベンチで肩を組んで見守っていた部員とマネージャーが一斉に、激闘のすえ優勝を勝ち取ってくれた選手のもとへなだれ込んだ。福大医学部サッカー愛好会発足以来、初の快挙である。また、国立大学が25年の間、手放すことがなかった優勝もストップさせることに成功した。

北京五輪が開かれ、西医体も60回目という節目のこの年にわがサッカー部も金メダルを持って、広島から凱旋することが出来たのは、サッカー部が毎日ひたむきに練習してきた結果得ることが出来たご褒美であると共にOBの先生方や応援して下さった友達のおかげであることも間違いない。

**1回戦** VS 大阪市立大学 2 - 2  
(PK4 - 3) (得点者 矢野雅也・清水真行)  
先制するも逆転され、追いつきPK戦で勝利！

**2回戦** VS 岐阜大学 4 - 1  
(矢野雅也・太田浩二・清水真行・小林広昌)  
実力を出し切り快勝！

**3回戦** VS 九州大学 2 - 1  
(太田浩二・目野恭平)

福大の技術と闘志が九大を完全に上回って勝利！

**準々決勝** VS 三重大学 3 - 2  
(目野恭平 ×3)

2度目のベスト4に向け快勝！

**準決勝** VS 岡山大学 2 - 0  
(太田浩二 ×2)

前半のピンチを、体を張りゴールを死守。  
試合終了間際に2ゴール決め初の決勝進出！

**決勝** VS 愛知医科大学 3 - 3  
(延長1 - 1 PK 8 - 7)  
(太田浩二・目野恭平・清水真行)

2点ビハインドから後半ロスタイムで同点。延長戦でも突き放されるが不屈の闘志でPK戦へ。  
前代未聞の11人PKを乗り越え、優勝！！



初戦をいい形で勝ち上がることが出来、みんなのモチベーションが急激に高まった事は間違いない。“6年生と笑顔で別れよう”や“優勝出来るぞ”といった言葉がチーム内で沸き上がり、目標が統一され、チーム一丸となれたことが勝因だった。出場した6年生全員が良いところでゴールを決めてくれてチームを盛り上げてくれた。優勝ということはレギュラーでなくてもこれほど嬉しいことなのかと感ずることが出来た。

この大会では周りの人の温かさにたくさん触れることが出来、感謝なしでは終われない。まず、OBの先生方、部員の両親、友達が日替わりで応援に来てくれて、いっそう気が引き締まった。準決勝後、広島観光に行ったときに対戦していた三重大大学の選手に会ったとき、「頑張ってください」といわれた。また岡山大学の選手たちからは、福大の優勝を願う希望が詰まった千羽鶴を譲り受け、さらに

決勝戦では一緒になって熱い声援を送ってもらったことに深謝する。

一番充実していて、一番熱くて、一番勝ちにこだわって、一番喜んで、一番叫んで応援して、一番部活や仲間のありがたさ・温かさを感じた夏だった。このような体験をさせてくれた田中健太郎キャプテンを始め、サッカー部のみんなに厚く感謝の意を表したい。

## 祝サッカー一部優勝！！応援団裏話

順天堂大学附属静岡病院 山田大樹 (29 回生)

第 60 回西医体で念願の初優勝を果たした。夏休みの全てを西医体に奉げた事で優勝の瞬間に立ち会えたこと、同窓会誌に載せて頂ける名誉まで頂いた。

OB となり腹周りに脂肪が付き、階段を駆け上がると息が切れる情けない現在ではあるが勝利への執念は選手達に負けないつもりだ！OBとして何度か大会の応援に駆けつけたがゴールと勝利の瞬間はワールドカップの興奮を上回る。元来お祭り好きな性格からか 2 年前の矢野キャプテン代で勝手に応援団を結成。カラオケ屋で練習し、大会中はメガホン片手に怒鳴り散らすかなり原始的な応援スタイルである。選手時代、大会にボート部、ラグビー部が中心となり応援に来てくれた。なぜかメガホンを持ち、お気に入りのサッカーシャツを身にまとい私達選手を応援してくれたのである。彼らの応援があれば勝率が 8 割（本当に！）だったのを今でも覚えている。まさにホームの大声援が選手に勇気を与え、苦しい時に力を与えてくれるのだ。そ

の声援のお陰で私は銅メダルを獲得し今でも彼らに感謝している！

応援は登録外と途中交代後の選手で行われた。ここで問題となるのが登録外選手の悔しい気持ちだ。辛い練習を出場選手と同じメニューをこなし大会へ来たけど応援…。現実には辛いものがあるだろう。試合に出られない上に早期敗退。これはさらなる悲劇だ。登録外選手のほとんどが悔しい気持ちをもっていただろう。ただ彼らが素晴らしかったのはそれを乗り越え、悔しさにめげず声を嚙らして大声援を送ったことだ。そして出場選手がそれに応える。身を投げ出しゴールを死守。ゴールを決めた選手が応援団まで駆けつけて皆で抱き合う。出場選手から応援団へ渡される金メダル。出場選手から応援団に対する感謝の言葉の数々。完璧なチームワークとは正にこの事だ！私は後輩達を誇りに思う！

順天堂はスポーツ好きの集まりだ。「山田君。福大って強いのか？」…「西の王者です！！」

# 福岡大学医学部同窓会諸表

## 平成 19 年度収入支出決算

区分	科 目	18 予算 :A	18 決算 :B	18 決算予算比較	決 算 内 訳
収 入	繰 越 金	6,880,000	11,118,331	4,238,331	
	会 費 収 入	24,681,000	23,166,210	▲ 1,514,790	入会費、学年会費、年会費、準年会費
	協 賛 金 収 入	1,800,000	1,550,000	▲ 250,000	会員名簿広告掲載料
	手 数 料 収 入	656,000	617,160	▲ 38,840	生命保険
	雑 収 入	322,000	246,312	▲ 75,688	グッズ売上代
	預 り 金 収 入	171,000	173,360	2,360	給与源泉徴収分
	積 立 金 繰 入	4,000,000	4,000,000	0	会員名簿作成
	仮 受 金	1,000,000	1,000,000	0	運転資金として同窓会勘定より
	借 入 金	2,000,000	0	▲ 2,000,000	
	合 計	41,510,000	41,871,373	361,373	
支 出	給 与	4,100,000	4,394,680	294,680	3名分
	旅 費	2,020,000	1,444,890	▲ 575,110	役員旅費、評議員会、私大連絡会、通勤旅費
	事 務 用 品 費	360,000	328,832	▲ 31,168	
	印 刷 費	6,700,000	5,471,552	▲ 1,228,448	会報年2回、会員名簿ほか
	通 信 運 搬 費	2,632,000	2,118,021	▲ 513,979	電信電話、切手葉書、その他の運送料
	設 備 工 事 費	310,000	0	▲ 310,000	
	什 器 備 品 費	200,000	320,115	120,115	
	事 業 費	13,845,000	10,182,397	▲ 3,662,603	事業計画参照
	会 議 費	1,600,000	915,196	▲ 684,804	理事会、会長懇話会、評議員会、各種委員会
	公 租 公 課	70,000	80,000	10,000	法人県市民税
	雑 費	3,532,000	2,456,807	▲ 1,075,193	慶弔費、渉外費、寄付金ほか
	預 り 金 支 出	165,000	143,060	▲ 21,940	
	引 当 金 積 立	0	0	0	
	仮 渡 金	1,000,000	1,000,000	0	運転資金として代理店勘定へ
	借 入 金 返 却	2,000,000	0	▲ 2,000,000	
予 備 費	2,976,000	0	▲ 2,976,000		
	合 計	41,510,000	28,855,550	▲ 12,654,450	
収 支 差 引	0	13,015,823	13,015,823		

## 平成 19 年度残金処分

残金額（収支差引額）	13,015,823 円
事業積立金積立	1,000,000 円
刊行物積立金	2,000,000 円
次年度繰越	10,015,823 円

## 平成 19 年度特別会計決算

	事業積立金	医学教育研究基金	刊行物積立金	合 計
前年度より繰越	98,985,727	3,855,570	7,010,433	109,851,730
本年度増加額	0	20,000	0	20,000
本年度受取利息	80,267	0	0	80,267
本年度減少額	0	0	4,000,000	4,000,000
本年度未決額	99,065,994	3,875,570	3,010,433	105,951,997

## 平成 20 年度事業計画

項 目	摘 要	20 年度予算
① 会報の発行	春：4,300部 秋：4,900部	2,412,000
② 総会の開催	総会準備費、新入生歓迎費	450,000
③ 支部活動援助	講師招聘援助費、支部活動費	1,750,000
④ 研究奨励賞	6件以内及び諸経費 10万円	1,900,000
⑤ 在外研究援助	1件 20万円以内 10件	2,000,000
⑥ 学生対策	新入生歓迎会、M4 激励会、国試激励会、新入生に T シャツ支給	2,300,000
⑦ 白衣贈与	B S L 用白衣	1,000,000
⑧ 国試対策費	国試対策費、夏期セミナー、国試応援費	2,700,000
⑨ 支部祝儀贈与	支部発足、支部会参加	230,000
⑩ 学生行事援助	学生行事援助、烏帽子会賞、学生行事への参加	700,000
⑪ 慶弔贈与	祝儀、弔慰金、見舞金ほか	115,000
⑫ グッズ作製	グッズ作製（ネクタイピン）	500,000
⑬ 会員名簿の発行	（今年度は実施せず）	0
⑭ パニックマニュアルの発行	（南山堂出版書籍を購入）	600,000
⑮ 奨学金緊急貸与	緊急時における奨学金の貸与	1,000,000
合 計		17,657,000

## 平成 20 年度収入支出予算

区分	科目	19 予算	20 予算	20 年度予算摘要	20 予算-18 予算
収 入	繰越金	6,880,000	8,362,000		1,482,000
	会費収入	24,681,000	24,616,000	入会費、学年会費、年会費、準年会費	▲ 65,000
	協賛金収入	1,800,000	0		▲ 1,800,000
	手数料収入	656,000	640,000	集金手数料ほか	▲ 16,000
	雑収入	322,000	120,000	グッズ売上ほか	▲ 202,000
	預り金収入	171,000	160,000	給与源泉徴収税	▲ 11,000
	積立金繰入	4,000,000	0		▲ 4,000,000
	仮受金	1,000,000	1,500,000	代理店勘定運転資金として同窓会勘定より仮受	500,000
	借入金	2,000,000	0		▲ 2,000,000
合 計	41,510,000	35,398,000		▲ 6,112,000	
支 出	給与	4,100,000	4,251,000	3名分	151,000
	旅費	2,020,000	1,720,000	役員旅費、通勤旅費、評議員会、その他	▲ 300,000
	事務用品費	360,000	360,000		0
	印刷費	6,700,000	1,980,000	会報年2回ほか	▲ 4,720,000
	通信運搬費	2,632,000	2,632,000	電信電話、会報、名簿、切手葉書ほか	0
	設備工事費	310,000	240,000	維持契約ほか	▲ 70,000
	什器備品費	200,000	240,000		40,000
	事業費	13,845,000	15,245,000	事業計画参照	1,400,000
	会議費	1,600,000	1,600,000	理事会、会長懇話会、各種委員会、その他	0
	公租公課	70,000	70,000	法人県市民税	0
	雑費	3,532,000	3,032,000	税理士報酬、渉外費、寄付金、その他	▲ 500,000
	預り金支出	165,000	160,000	給与源泉徴収税	▲ 5,000
	引当金積立	2,000,000	2,000,000		0
	仮渡金	1,000,000	1,500,000	代理店勘定運転資金として同窓会勘定より	500,000
	借入金返却	0	0		0
	予備費	2,976,000	368,000		▲ 2,608,000
合 計	41,510,000	35,398,000		▲ 6,112,000	
収支差引	0	0		0	

## 医局長・医長名簿

(○内の数字は卒業回、筑紫病院の※印は内科第一・第二・消化器科の代表医長)

平成 20 年 11 月現在

	医 局 長	病棟医長	外来医長
[ 福 大 病 院 ]			
腫瘍・血液・感染症内科	石 塚 賢 治	佐々木 秀 法	高 松 泰
内 分 泌 ・ 糖 尿 病 内 科		工 藤 忠 睦 <sup>②</sup>	明 比 祐 子
循 環 器 科	河 村 彰 <sup>①</sup>	久保田 和 充 <sup>①</sup>	岩 田 敦 <sup>②</sup>
消 化 器 科	前 田 和 弘 <sup>③</sup>	竹 山 康 章 <sup>⑤</sup>	入 江 真 <sup>⑬</sup>
腎 臓 ・ 膠 原 病 内 科	中 島 衡	三 宅 勝 久	安 部 泰 弘 <sup>②</sup>
呼 吸 器 内 科	藤 田 昌 樹	荒 牧 竜 太 郎	赤 木 隆 紀 <sup>②</sup>
神 經 内 科 ・ 健 康 管 理 科	馬 場 康 彦 <sup>②</sup>	井 上 展 聡 <sup>②</sup>	合 馬 慎 二 <sup>②</sup> (神経)
〃			宗 清 正 紀 (健管)
精 神 神 經 科	永 井 宏 <sup>②</sup>	吉 田 公 輔	正 化 孝
〃 (デイケア)			平 川 清 人
小 児 科	井 上 貴 仁 <sup>⑤</sup>	田 中 美 紀 <sup>①</sup>	柳 井 文 男
消 化 器 外 科	篠 原 徹 雄 <sup>⑫</sup>	星 野 誠 一 郎	山 内 靖
呼 吸 器 ・ 乳 腺 内 分 泌 ・ 小 児 外 科	吉 永 康 照 <sup>⑪</sup>	濱 武 大 輔 <sup>②</sup>	今 給 黎 尚 幸 <sup>①</sup>
整 形 外 科	佐 伯 和 彦 <sup>⑮</sup>	金 宮 毅 <sup>⑭</sup>	金 澤 和 貴
形 成 外 科	蔡 顯 真	西 平 智 和 <sup>⑯</sup>	酒 井 邦 夫
脳 神 經 外 科	大 城 真 也 <sup>⑪</sup>	小 松 美 香	重 川 誠 二 <sup>⑮</sup>
心 臓 血 管 外 科	岩 橋 英 彦 <sup>①</sup>	林 田 好 生 <sup>②</sup>	竹 内 一 馬 <sup>②</sup>
皮 膚 科	高 橋 聡 <sup>②</sup>	徳 丸 良 太 <sup>②</sup>	伊 藤 宏 太 郎 <sup>⑯</sup>
泌 尿 器 科	松 岡 弘 文 <sup>⑧</sup>	中 村 信 之 <sup>⑩</sup>	入 江 慎 一 郎 <sup>①</sup>
産 婦 人 科	辻 岡 寛 <sup>⑮</sup>	小 濱 大 嗣 <sup>⑮</sup> (3東)	吉 里 俊 幸
〃		堀 内 新 司 <sup>⑮</sup> (3北)	
眼 科	尾 崎 弘 明	小 沢 昌 彦 <sup>⑮</sup>	近 藤 寛 之
耳 鼻 咽 喉 科	柴 田 憲 助 <sup>⑨</sup>	末 田 尚 之 <sup>⑰</sup>	山 野 貴 史
放 射 線 科	高 野 浩 一 <sup>⑭</sup>	浦 川 博 史 <sup>⑮</sup>	井 田 樹 子 <sup>⑮</sup>
麻 酔 科	香 取 清 <sup>⑬</sup>	廣 田 一 紀	平 田 和 彦 <sup>⑫</sup>
歯 科 口 腔 外 科	梅 本 丈 二	古 田 治 彦	青 柳 直 子
病 理 部	久 野 敏		
臨 床 検 査 部	佐 光 英 人 <sup>⑱</sup>		
輸 血 部	熊 川 みどり		
救 命 救 急 セ ン タ ー	喜 多 村 泰 輔 <sup>⑮</sup>	石 河 利 之 <sup>⑮</sup>	
総 合 周 産 期 母 子 医 療 セ ン タ ー		森 聡 子 <sup>⑬</sup>	
総 合 診 療 部	柏 木 謙 一 郎		北 島 研 <sup>⑲</sup>
[ 筑 紫 病 院 ]			
筑 紫 病 院 ( 総 医 局 長 )	伊 香 稔		
内 科 第 一	山 之 内 良 雄 <sup>⑦</sup>	※ 三 好 恵 <sup>⑮</sup>	新 村 英 也 <sup>⑮</sup>
内 科 第 二	久 良 木 隆 繁	森 田 正 勝	※ 飯 野 研 三
消 化 器 科 ・ 内 視 鏡 部	※ 高 木 靖 寛 <sup>⑮</sup>	長 浜 孝 <sup>⑰</sup>	久 部 高 司 <sup>⑰</sup>
小 児 科	深 町 滋 <sup>⑮</sup>	城 谷 吾 郎	森 島 直 美
外 科	三 上 公 治 <sup>⑬</sup>	永 川 祐 二 <sup>⑱</sup>	富 安 孝 成 <sup>⑲</sup>
整 形 外 科	張 敬 範 <sup>⑫</sup>	藤 澤 基 之 <sup>⑱</sup>	秋 吉 祐 一 郎
脳 神 經 外 科	伊 香 稔	堤 正 則	相 川 博
泌 尿 器 科	石 井 龍 <sup>⑤</sup>	平 浩 志 <sup>⑮</sup>	石 井 龍 <sup>⑤</sup>
眼 科	吉 田 茂 生	吉 田 茂 生	吉 田 茂 生
耳 鼻 咽 喉 科	坂 田 俊 文 <sup>⑩</sup>	一 番 ヶ 瀬 崇 <sup>⑱</sup>	上 野 哲 子 <sup>⑲</sup>
放 射 線 科	中 島 力 哉 <sup>⑭</sup>		
麻 酔 科	生 野 慎 二 郎 <sup>⑧</sup>		
病 理 部	原 岡 誠 司		
救 急 部	紙 谷 孝 則 <sup>⑮</sup>		

## 教育職員人事（講師以上）

（○内の数字は福大医学部卒業回）  
〔平成 20. 4. 2 ~ 20.10. 1〕

区分	所属	資格	氏名	発令日	摘要
昇格	筑紫脳神経外科	教授	風川 清	20.10.1	
	筑紫泌尿器科	教授	平塚 義治	20.10.1	
	腫瘍・感染症・内分泌内科学	准教授	高松 泰	20.10.1	
	病理部	准教授	久野 敏	20.10.1	
	整形外科学	准教授	副島 修 <sup>⑨</sup>	20.10.1	
	生理学	講師	森 誠之	20.10.1	
	小児科学	講師	安元 佐和 <sup>⑦</sup>	20.10.1	
	消化器内科学	講師	釈迦堂 敏	20.10.1	
所属替え	消化器外科学	講師	星野 誠一郎	20.10.1	
	耳鼻咽喉科学	講師	坂田 俊文 <sup>⑩</sup>	20.10.1	筑紫耳鼻咽喉科へ

訃報／石田秀樹先生（2回生）平成20年11月5日ご逝去

## 事務局連絡

### 福大医学部を受験されるお子様のお名前をお教え下さい

烏帽子会では毎年、福大医学部を受験される同窓生のお子様のお名前をお尋ねしております。大学によっては同窓生子女の合格者数が入学定員の半数に迫る大学もあるようですが、本学では例年お子様の受験者数50～60人に対し合格者は10数名、入学定員の10%台に過ぎません。来年からは入学定員が10名増える事もあり、気を揉み且つ期待もしています。つきましては、色々の参考にしたいと考えていますので、お差し支えなければ受験されるお子様のお名前を下記あてお知らせ下さい。

TEL:092-865-6353 FAX:092-865-9484 E-mail:eboshi@minf.med.fukuoka-u.ac.jp

814-0180 福岡市城南区七隈 7-45-1 福岡大学医学部同窓会

## 編 集 後 記

去る7月の記念同窓会総会・祝賀会は、お陰様で無事終えることができました。当番幹事の一人としてまず皆さんにお礼申し上げます。しかし直前になって次々と不手際が見つかりバタバタしたのは、20年の月日を経ても学生の時と変わらないなあと思い、妙に懐かしさが募ったりもしたものでした。

さて、急激で深刻な経済破綻、アメリカ大統領の交替と世情はめまぐるしく動いています。我が母校でも、新病院棟の建築、教授の世代交代が進み、医局長も三分の二を母校出身者が占めるなど、ハード・ソフトウェアともに変化しています。サッカー部の西医体優勝も嬉しい知らせです。

産婦人科のみならぬ厳しい医療事情の中、福大らしさを活かして会員諸氏、学生ともども頑張ってくださいましょう！（YT）

# 優勝 おめでとう

第60回西医体 福大医学部サッカー愛好会



10月15日  
新診療棟の地鎮祭が  
行われ、早速工事が  
始まりました。

完工は平成22年末  
との事です。



## 烏帽子会会報第45号

発行日 平成20年11月15日  
発行人 高木忠博  
編集人 大慈弥裕之

発行所 〒814-0180  
福岡市城南区七隈7-45-1  
福岡大学医学部同窓会  
電話 092-865-6353 (直通)  
092-801-1011 (代表)  
内線 3032  
FAX 092-865-9484

E-mail: eboshi@minf.med.fukuoka-u.ac.jp

印刷所 ロータリー印刷株  
福岡市中央区長浜2-1-30  
電話 092-711-7741  
FAX 092-711-7901